

愛別町 公共施設等総合管理計画

平成 28 年度から平成 37 年度

愛 別 町

目次

はじめに	1
1. 計画策定の背景と目的	1
2. 愛別町の概要	2
第1章 公共施設等の現状及び将来の見通し	3
1. 公共施設等の分類	3
2. 公共施設等の現状	4
3. 老朽化の状況や利用状況をはじめとした公共施設等の状況	16
4. 総人口や年代別人口についての今後の見通し	21
5. 公共施設等の更新等に係る中長期的な経費の見込み	23
第2章 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針	29
1. 現状を踏まえた課題抽出	29
2. 公共施設マネジメントの基本的考え方	30
3. 計画期間	32
4. 取り組み体制の構築及び情報管理に関する方策	32
5. 公共施設等の管理に関する方針	33
6. フォロウ体制に関する実施方針	34
第3章 施設類型ごとの管理に関する基本方針	35
1. 施設類型ごとの管理に関する基本方針	35
2. 公共施設（建築物）に関する基本方針	35
3. インフラ系施設に関する基本方針	37
参考資料1 公共施設（建築物）一覧表	39
参考資料2 建築物以外のスポーツ施設・公園等一覧表	52

はじめに

1. 計画策定の背景と目的

全国的に公共施設等の老朽化対策が大きな課題となっております。

国においては、平成 25 年 11 月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、平成 26 年 4 月には各地方公共団体に対して「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」を示し、総合管理計画の策定を求めています。

愛別町においては、主要な公共施設（庁舎や地域会館、学校等）やインフラ施設（道路、橋梁等）の多くが 30 年以上前に建設されたものです。昭和の年代に整備した施設等は既に耐用年数を経過したものも多く、老朽化によるリスクや維持管理費の増大、改修などの課題を抱えている状況です。厳しい財政状況が続く中で、更なる人口減少等により公共施設等の利用需要が変化していくことが予想されることを踏まえ、早急に公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現することが必要となってきます。

現在、公共施設等の管理については、施設類型（道路、学校等）ごとに各担当部局において管理されており、情報が全庁的に共有されていません。今後、公共施設等の適切な規模とあり方について全庁的に検討し、管理情報および個別計画を集約した上で、情報の共有を図る必要があります。具体的には、町の所有する公共施設（建築物）やインフラ系施設について、建物劣化状況、運営状況、利用状況、コスト状況等を調査し、一元的な情報整理（データベースの作成）を行うとともに各施設の状況調書（施設カルテ）を作成しつつ、施設現状調査の結果により、維持管理上の課題抽出、修繕費用の予測を踏まえて、施設の長期的な修繕計画を策定していかなければなりません。

公共施設等のマネジメントを総合的かつ計画的に管理し、公共施設等に求められる安全・機能を確保しつつ、次世代に可能な限り負担を残さない効率的・効果的な公共施設等の最適な配置を実現するため、「公共施設等総合管理計画」を策定します。

2. 愛別町の概要

愛別町は、明治 28 年に和歌山県・岐阜県・愛知県からの移住者によって開拓され、入植者の増加により明治 30 年に愛別村として誕生しました。その後稲作を核とした農業を中心に発展し、昭和 36 年の町制施行で愛別町となりました。

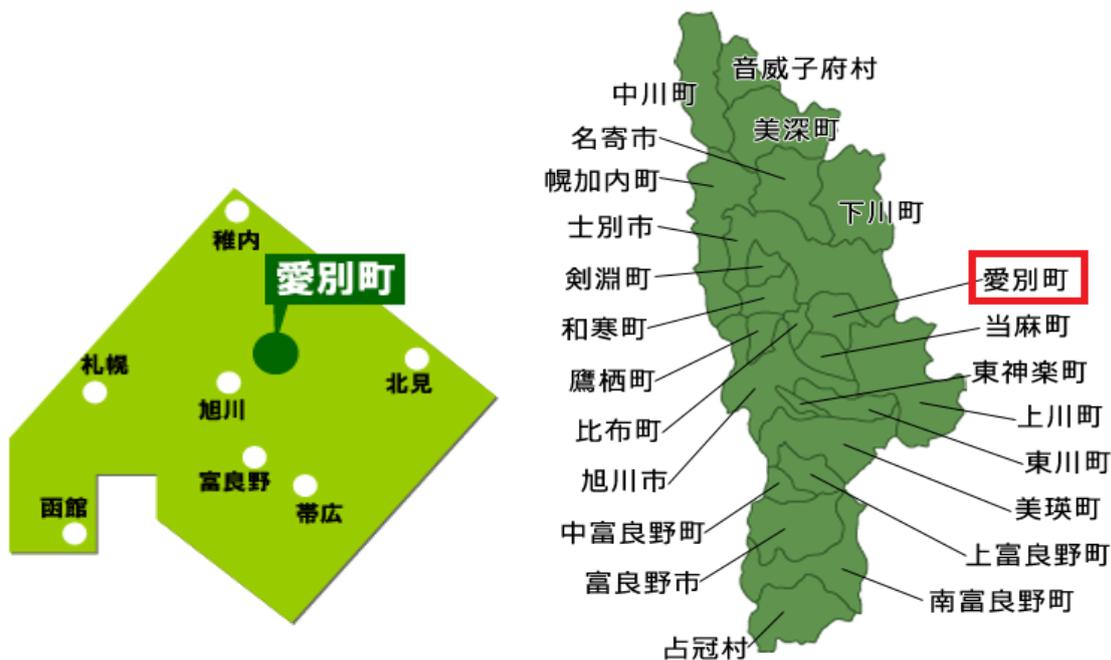
愛別町は北海道のほぼ中央にある上川盆地の北東端に位置し、雄大な大雪山連邦の麓にあります。周囲は山に囲まれています。いずれも 1,000m 以下の山々が中心であり、平地の海拔は 200m 程度です。河川については、石狩川と愛別川及びその支流が町内を流れ、水田を灌漑しています。

内陸にあるため気候は大陸性で、年間の平均気温は 5.0℃前後、夏は 30℃以上、冬は氷点下 20℃以下になることもあるなど、寒暖の差が激しい気候です。また、年間降水量は 800mm 前後、降雪量は 6m 前後です。

町の総面積は 250.13 km²、人口は平成 27 年 3 月時点で 3,090 人、人口密度は 12.35 人/km²です。総面積の 8 割を山林と原野が占めており、次いで田が 7% を占めています。

主要な産業は、河川流域で稲作を中心とした農業と畜産です。また、愛別町はえのきやなめこ、舞茸など、きのこの栽培に積極的に取り組んでおり、道内屈指の「きのこの里」としても知られています。

愛別町の行政地区は、石狩川と愛別川に挟まれた金富地区、愛別川流域の厚生・伏古・協和地区、中心市街地である本町・北町・南町地区、石狩川流域の愛別・東町地区、豊里・中央地区、愛山地区に区分することができます。



第1章 公共施設等の現状及び将来の見通し

1. 公共施設等の分類

愛別町が保有する公共施設等について、公共施設（建築物）とインフラ系施設に大別します。公共施設（建築物）については、関係する事業分野や用途に応じて、下表の通り分類します。一方、インフラ系施設については、道路、橋梁、公園、上下水道施設の4類型に分類します。

■公共施設等の分類及び各分類の施設数・延床面積

大分類	番号	分類	主な施設	施設数	延床面積 (㎡) 又は延長 (m)
公共施設 (建築物)	1	行政施設 (庁舎等)	本庁舎、除雪総合車庫	5	3,981
	2	社会福祉	老人福祉センター、 高齢者福祉センター、共生型交流館	3	3,150
	3	児童福祉	さくら保育所	1	742
	4	医療・衛生	診療所、火葬場	2	1,074
	5	産業・観光	蔵ら、農村環境改善センター、農業 集落環境管理施設(堆肥センター等)	7	8,101
	6	住宅	公営住宅、特定公共賃貸住宅	71	22,322
	7	教職員住宅	職員住宅、教員住宅	23	2,312
	8	学校教育	幼稚園、小学校、中学校	3	9,748
	9	社会教育	郷土芸能伝承館、宿泊研修施設	2	1,379
	10	地域会館	公民館、伏古生活改善センター、 愛別地区農業研修センター	9	4,232
	11	スポーツ	球場、スキー場、海洋センター	6	2,910
	12	消防	消防署、器材庫、乾燥塔	6	780
	13	その他	旧農産加工場、バス待合所	21	6,801
公共施設(建築物) 小計				159	67,530
インフラ系施設	1	道路			(延長) 250,899
	2	橋梁			(延長) 1,523
	3	公園	土地のみ(管理塔や休憩所は除く)		291,155
	4	上下水道	下水道終末処理場、 下水管、マンホール		20,783

※平成26年3月現在の固定資産台帳に直近の修正を加味し集計しています。

2. 公共施設等の現状

(1) 保有状況

①公共施設（建築物）

愛別町の保有する公共施設（建築物）は、合計 159 施設、延床面積の合計は約 6 万 7 千㎡となっています。

施設数では、住宅（公営住宅）や教職員住宅が多く、次いで学校教育関連施設（幼稚園や小・中学校の校舎や体育館、物置など）、産業・観光関連施設（農業環境管理施設など）となります。

延床面積の構成割合でも、住宅が最も多く約 3 割を占めており、次いで学校教育関連施設が 14.4%、産業・観光関連施設が 12.0%となります。

なお、人口一人当りの延床面積を算出する際の人口は、他の自治体との比較の為、平成 27 年 1 月時点の人口 3,106 人で計算しております。

■公共施設（建築物）の分類別の人口一人当り延床面積、延床面積の構成割合

大分類	番号	分類	施設数	延床面積 (㎡)	人口一人 当り面積 (㎡)	構成割合 (%)
公共施設 (建築物)	1	行政施設（庁舎等）	5	3,981	1.28	5.9%
	2	社会福祉	3	3,150	1.01	4.7%
	3	児童福祉	1	742	0.24	1.1%
	4	医療・衛生	2	1,074	0.35	1.6%
	5	産業・観光	7	8,101	2.61	12.0%
	6	住宅	71	22,322	7.19	33.1%
	7	教職員住宅	23	2,312	0.74	3.4%
	8	学校教育	3	9,748	3.14	14.4%
	9	社会教育	2	1,379	0.44	2.0%
	10	地域会館	9	4,232	1.36	6.3%
	11	スポーツ	6	2,910	0.94	4.3%
	12	消防	6	780	0.25	1.2%
	13	その他	21	6,801	2.19	10.1%
公共施設（建築物） 小計			159	67,530	21.74	100.0%

②インフラ系施設

愛別町の保有するインフラ系施設については下表の通りです。道路・橋梁については延床面積ではなく実延長（m）を記載しております。

■インフラ系施設の分類別の人口一人当り延床面積

大分類	番号	分類	主な施設	実延長又は延床面積 (m、㎡)	人口一人 当り面積 (㎡)
インフラ系施設	1	道路		250,899.40	80.78
	2	橋梁		1,522.70	0.49
	3	公園		291,155.44	93.74
	4	上下水道	下水道終末処理場、下水管、マンホール	20,783.19	6.69

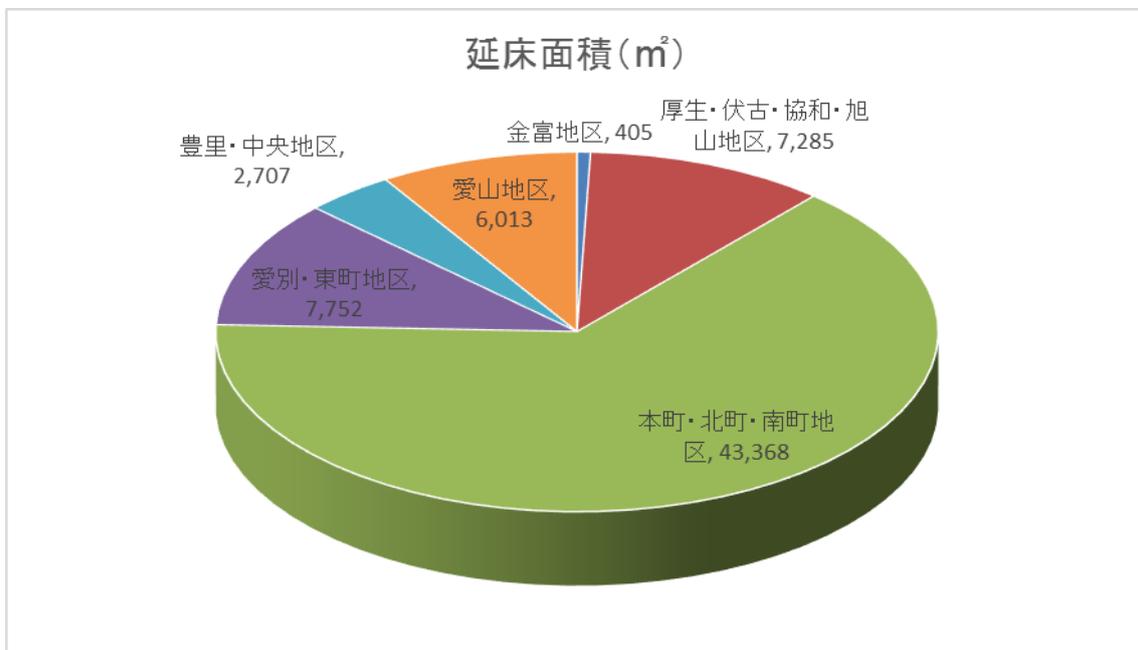
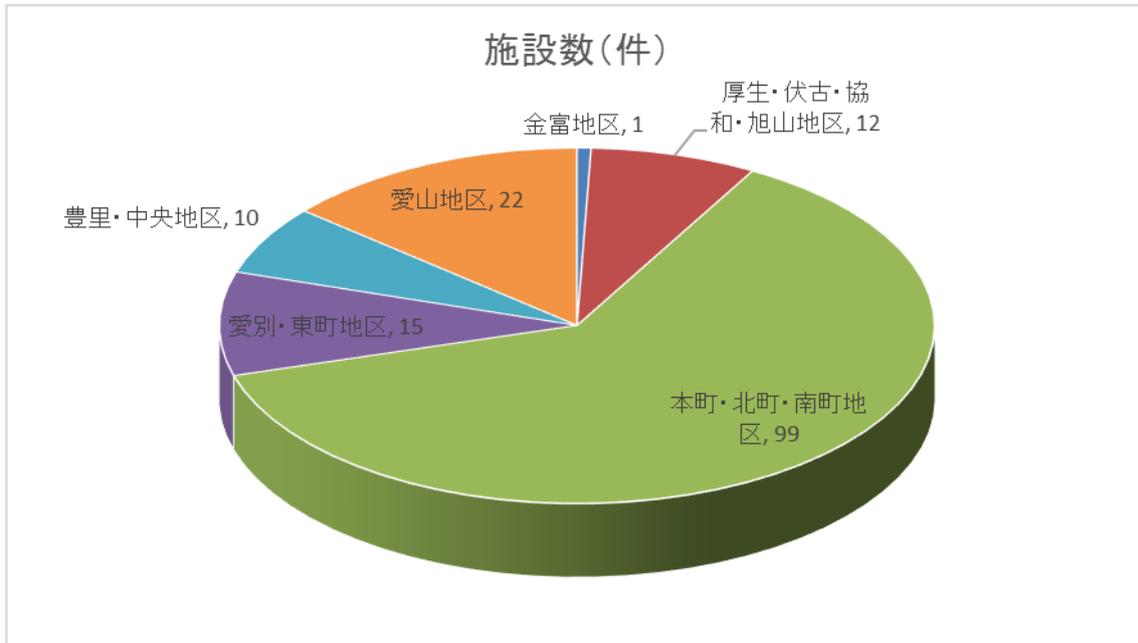
（２）公共施設（建築物）の地区別分布状況

愛別町の公共施設（建築物）を地区別に見ると、庁舎をはじめ主要な施設や公営住宅の大半は、中心市街地である本町・北町・南町地区に集中しています。この地区にある公共施設が、施設数では町全体の62.3%、延床面積では64.2%を占めています。

一方、地域会館や教職員住宅は、ほとんどの地区に分布しています。公営住宅も、中心市街地に集中してはいますが、複数の地区に分布しています。

厚生・伏古・協和・旭山地区と愛別・東町地区は、施設数の割合に比べて延床面積の割合が大きくなっていますが、これらの地域にはそれぞれ、延床面積の大きな施設があるためです。（構成・伏古・協和・旭山地区には農業集落環境管理施設（堆肥センター等）が、愛別・東町地区には愛別中学校があります。）

■ 公共施設（建築物）の地区別分布状況



■公共施設（建築物）の施設分類別の地区別分布状況

※表の数値は、上段は施設数、下段は延床面積（㎡）です。

施設分類	地区名称						総計
	金富地区	厚生・伏古 協和・旭山 地区	本町 北町 南町 地区	愛別 東町 地区	豊里 中央 地区	愛山 地区	
庁舎			5				5
			3,981				3,981
社会福祉		1	2				3
		597	2,553				3,150
児童福祉			1				1
			742				742
医療・衛生			2				2
			1,074				1,074
産業・観光		1	3		1	2	7
		5,177	2,008		150	766	8,101
住宅			59	6	2	4	71
			18,156	2,403	463	1,299	22,322
教職員住宅		3	9	5	2	4	23
		222	1,139	446	143	363	2,312
学校教育			2	1			3
			5,558	4,190			9,748
社会教育			1	1			2
			1,184	194			1,379
地域会館	1	2	2	1	1	2	9
	405	898	1,406	421	324	778	4,232
スポーツ		1	5				6
		119	2,791				2,910
消防		1	2	1	1	1	6
		88	394	98	97	103	780
その他		3	6		3	9	21
		184	2,383		1,529	2,704	6,801
合計	1	12	99	15	10	22	159
	405	7,285	43,368	7,752	2,707	6,013	67,530

■主要な公共施設の分布状況



- | | | |
|-------------|---------------|------------|
| ①愛別町役場 | ②愛別幼稚園、さくら保育所 | ③愛別小学校 |
| ④愛別中学校 | ⑤愛別診療所 | ⑥金富公民館 |
| ⑦農村環境改善センター | ⑧蔵 KURARA ら | ⑨あいべつ球場 |
| ⑩ファミリースキー場 | ⑪B & G海洋センター | ⑫石狩川親水緑地公園 |

(3) 他の自治体との比較

公共施設（建築物）のうち主要な分類の施設数や延床面積について、愛別町と同じ上川総合振興局の町村と比較してみます。

なお、他の自治体との比較にあたり、各自治体のデータについては、総務省の「公共施設状況調経年比較表」を用いております。

①庁舎および地域会館

愛別町の行政面積は、同じ上川総合振興局管内にある人口が同規模の自治体の平均と比べると幾分狭く、従って人口密度は同規模平均よりも高いことがわかります。

庁舎の延床面積は人口同規模平均と比べ若干少ないくらいですが、人口一人当たりの延床面積で見ると管内平均や道内平均よりは高くなります。

地域会館については、箇所数においては同規模自治体の平均と同じですが、延床面積では同規模自治体の平均より低くなっています。人口一人当たりの延床面積で見ると、道内平均よりは高くなります。

■愛別町役場庁舎



■庁舎及び地域会館についての周辺自治体との比較

番号	団体名	自治体情報		庁舎等の比較		地域会館の比較		
		人口 (人) H27.1	行政 面積 (k m ²)	延床 面積 (m ²)	人口 一人 当り 面積 (m ²)	箇所 数	延床 面積 (m ²)	人口 一人 当り 面積 (m ²)
1	愛別町	3,106	250.13	2,158	0.69	28	1,315	0.42
2	上富良野町	11,263	237.10	2,170	0.19	95	9,835	0.87
3	美瑛町	10,593	676.78	5,940	0.56	27	5,147	0.49
4	東神楽町	10,237	68.50	5,074	0.50	26	3,217	0.31
5	東川町	7,994	247.30	6,307	0.79	21	1,204	0.15
6	鷹栖町	7,264	139.42	3,090	0.43	28	9,017	1.24
7	当麻町	6,834	204.90	3,883	0.57	74	8,890	1.30
8	中富良野町	5,272	108.65	4,668	0.89	44	5,250	1.00
9	美深町	4,727	672.09	4,751	1.01	67	11,023	2.33
10	上川町	4,012	1049.47	2,993	0.75	20	5,544	1.38
11	比布町	3,924	86.90	1,617	0.41	12	3,371	0.86
12	和寒町	3,699	225.11	2,958	0.80	73	5,461	1.48
13	下川町	3,494	644.20	2,993	0.86	36	5,521	1.58
14	剣淵町	3,359	130.99	4,265	1.27	13	1,135	0.34
15	南富良野町	2,650	665.54	1,097	0.41	7	0	0.00
16	中川町	1,708	594.74	2,456	1.44	45	15,371	9.00
17	幌加内町	1,620	767.04	1,438	0.89	58	8,805	5.44
18	占冠村	1,218	571.41	1,415	1.16	13	1,265	1.04
19	音威子府村	800	275.63	1,474	1.84	33	6,935	8.67
人口同規模平均 (11~15)		3,425	350.55	2,586	0.75	28	3,098	0.85
上川管内平均		23,367	482.67	4,813	0.21	72	11,153	0.48
北海道平均		30,344	438.29	4,633	0.15	77	11,344	0.37

※人口は北海道総合政策部調べによる平成27年1月時点の人口です。

※行政面積は北海道総合政策部調べによる平成26年10月時点の面積です。

※各施設のデータ（延床面積や箇所数）は、総務省による公共施設状況調経年比較表（平成25年度）を用いています。

■ 金富公民館



■ 愛山公民館



②公営住宅

愛別町の公共施設（建築物）の中で最も多い公営住宅については、人口が同規模の自治体と比べて概ね平均的です。人口と戸数の比率から見ると、10人に一人の割合で公営住宅に居住していることになります。

■公営住宅についての周辺自治体との比較

番号	団体名	自治体情報		公営住宅の状況				
		人口 (人) H27.1	行政面積 (k m ²)	公営 住宅 (戸)	改良 住宅 (戸)	単独 住宅 (戸)	合計 (戸)	人口一人 当り戸数 (戸)
1	愛別町	3,106	250.13	228	0	78	306	0.10
2	上富良野町	11,263	237.10	405	0	0	405	0.04
3	美瑛町	10,593	676.78	441	0	70	511	0.05
4	東神楽町	10,237	68.50	344	0	34	378	0.04
5	東川町	7,994	247.30	295	0	68	363	0.05
6	鷹栖町	7,264	139.42	268	0	18	286	0.04
7	当麻町	6,834	204.90	222	0	30	252	0.04
8	中富良野町	5,272	108.65	348	0	40	388	0.07
9	美深町	4,727	672.09	226	0	68	294	0.06
10	上川町	4,012	1049.47	332	0	8	340	0.08
11	比布町	3,924	86.90	292	0	19	311	0.08
12	和寒町	3,699	225.11	344	0	90	434	0.12
13	下川町	3,494	644.20	321	0	34	355	0.10
14	剣淵町	3,359	130.99	267	0	52	319	0.09
15	南富良野町	2,650	665.54	335	0	34	369	0.14
16	中川町	1,708	594.74	216	0	48	264	0.15
17	幌加内町	1,620	767.04	210	0	48	258	0.16
18	占冠村	1,218	571.41	192	0	24	216	0.18
19	音威子府村	800	275.63	92	0	58	150	0.19
人口同規模平均 (11～15)		3,425	350.55	312	0	46	358	0.11
上川管内平均		23,367	482.67	576	14	37	626	0.03
北海道平均		30,344	438.29	790	91	38	919	0.03

※公営住宅のデータは、総務省による公共施設状況調経年比較表（平成25年度）を用いています。

■金富団地 13号棟



■子育て住宅 ボヌール



③道路

道路について人口が同規模の自治体の平均と比較すると、実延長は同程度ですが、面積は平均の半分以下となっています。これは、幅員の狭い道路（生活道路や農道）の割合が高いことを示しています。

■道路についての周辺自治体との比較

番号	団体名	自治体情報		道路状況			
		人口 (人) H27.1	行政 面積 (k m ²)	実延長 (m)	面積 (m ²)	人口一 人当り 延長 (m)	人口一 人当り面積 (m ²)
1	愛別町	3,106	250.13	250,816	1,365,471	80.8	440
2	上富良野町	11,263	237.10	415,061	4,600,656	36.9	408
3	美瑛町	10,593	676.78	653,795	10,705,782	61.7	1,011
4	東神楽町	10,237	68.50	266,249	3,246,773	26.0	317
5	東川町	7,994	247.30	236,352	2,714,255	29.6	340
6	鷹栖町	7,264	139.42	252,908	2,957,588	34.8	407
7	当麻町	6,834	204.90	240,148	3,042,561	35.1	445
8	中富良野町	5,272	108.65	275,133	3,759,720	52.2	713
9	美深町	4,727	672.09	325,610	4,121,550	68.9	872
10	上川町	4,012	1049.47	196,616	2,518,162	49.0	628
11	比布町	3,924	86.90	170,119	2,164,842	43.4	552
12	和寒町	3,699	225.11	343,462	4,161,399	92.9	1,125
13	下川町	3,494	644.20	329,854	4,807,061	94.4	1,376
14	剣淵町	3,359	130.99	310,408	4,249,983	92.4	1,265
15	南富良野町	2,650	665.54	205,233	2,741,145	77.4	1,034
16	中川町	1,708	594.74	214,492	2,581,066	125.6	1,511
17	幌加内町	1,620	767.04	287,808	3,258,539	177.7	2,011
18	占冠村	1,218	571.41	119,681	1,388,430	98.3	1,140
19	音威子府村	800	275.63	184,631	1,767,574	230.8	2,209
人口同規模平均 (11~15)		3,425	350.55	271,815	3,624,886	80.1	1,070
上川管内平均		23,367	482.67	438,094	5,479,677	18.7	235
北海道平均		30,344	438.29	397,750	4,985,257	13.1	164

※道路の実延長や面積は、総務省による公共施設状況調経年比較表（平成25年度）を用いています。

④公園

公園の箇所数や面積については同規模自治体の平均より少ないものの、人口一人当たりの面積については上川管内平均や道内平均を上回る結果となっています。

■公園についての他の自治体との比較

番号	団体名	自治体情報		公園情報		
		人口 (人) H27. 1	行政面積 (k m ²)	箇所数	面積 (m ²)	人口一人 当り面積 (m ²)
1	愛別町	3,106	250.13	4	141,405	45.53
2	上富良野町	11,263	237.10	12	270,000	23.97
3	美瑛町	10,593	676.78	36	614,221	57.98
4	東神楽町	10,237	68.50	24	477,166	46.61
5	東川町	7,994	247.30	3	74,696	9.34
6	鷹栖町	7,264	139.42	12	223,098	30.71
7	当麻町	6,834	204.90	15	248,091	36.30
8	中富良野町	5,272	108.65	1	33,000	6.26
9	美深町	4,727	672.09	8	162,831	34.45
10	上川町	4,012	1049.47	12	311,195	77.57
11	比布町	3,924	86.90	2	60,359	15.38
12	和寒町	3,699	225.11	2	1,153,864	311.94
13	下川町	3,494	644.20	10	321,714	92.08
14	剣淵町	3,359	130.99	10	72,564	21.60
15	南富良野町	2,650	665.54	0	0	0.00
16	中川町	1,708	594.74	0	0	0.00
17	幌加内町	1,620	767.04	6	325,815	201.12
18	占冠村	1,218	571.41	3	66,541	54.63
19	音威子府村	800	275.63	0	0	0.00
人口同規模平均 (11~15)		3,425	350.55	5	321,700	88.20
上川管内平均		23,367	482.67	32	693,446	29.68
北海道平均		30,344	438.29	48	1,035,119	34.11

※愛別町以外の公園の箇所数や面積は、総務省による公共施設状況調経年比較表（平成25年度）を用いています。

※愛別町については、土地財産台帳に掲載されている公園を追加しています。

3. 老朽化の状況や利用状況をはじめとした公共施設等の状況

(1) 公共施設（建築物）の建築年度別の状況

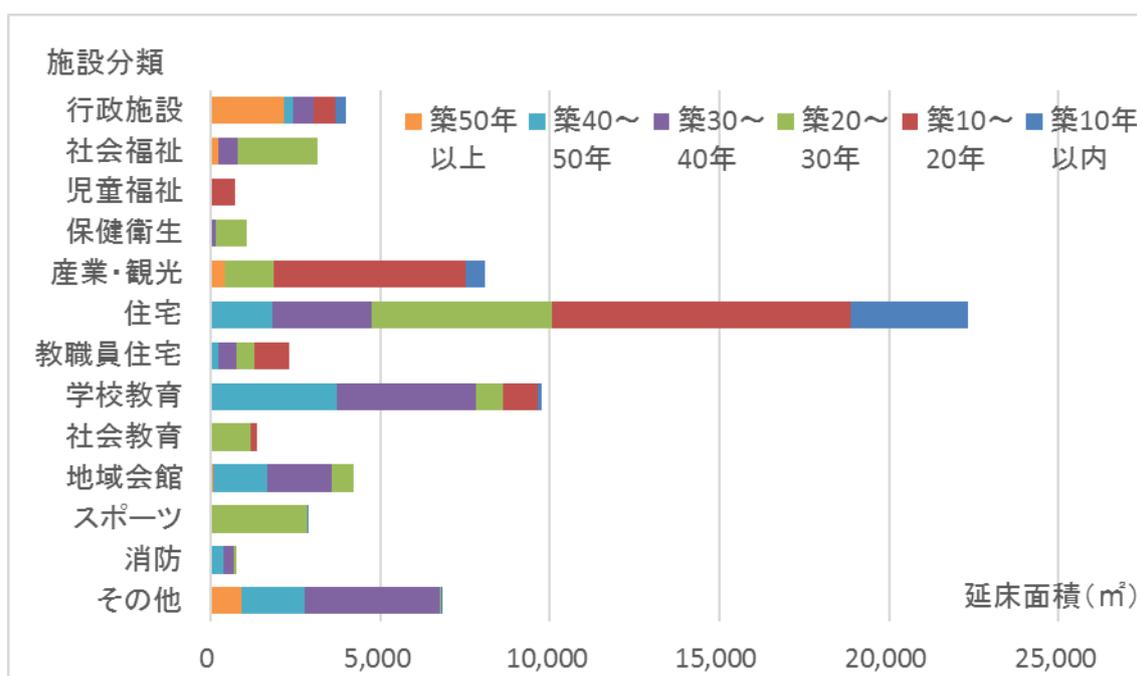
現行の耐震基準（新耐震基準）は、昭和 56 年（1981 年）に改正され、導入されたものです。新耐震基準の考え方は、中規模の地震（震度 5 強程度）に対しては、ほとんど損傷を生じず、極めて稀にしか発生しない大規模の地震（震度 6 強から震度 7 程度）に対しては、人命に危害を及ぼすような倒壊等の被害を生じないことを目標としたものとなっています。

上記をひとつの基準とし、愛別町における年度別の建築状況（施設数及び延床面積）を見ると下図の通りとなります。

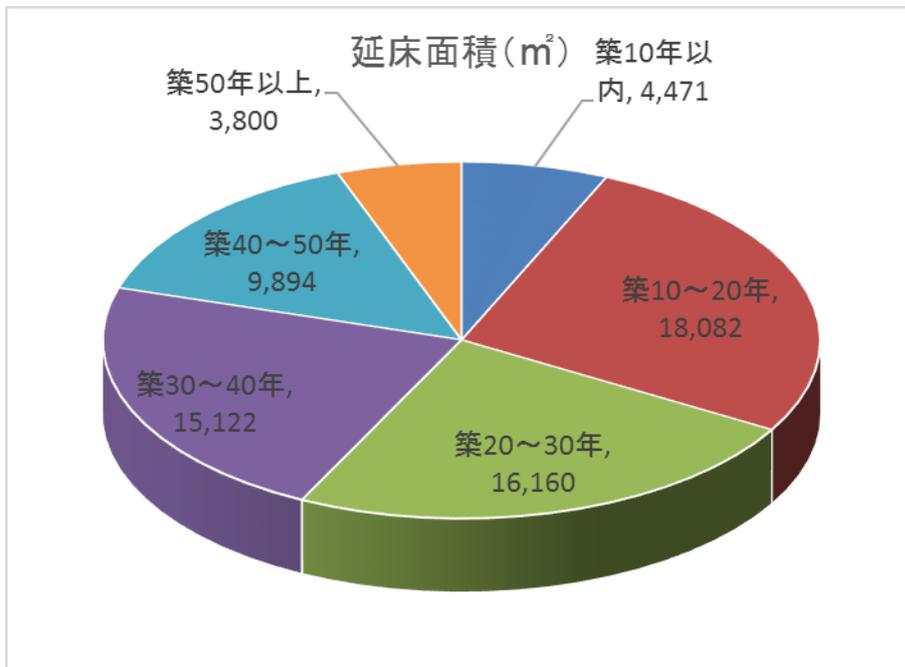
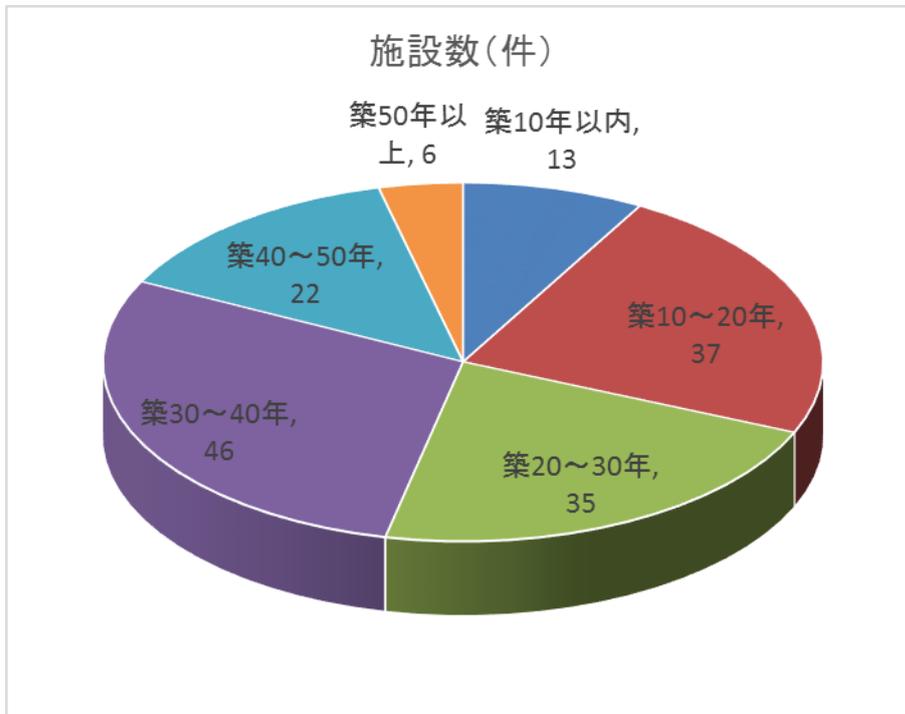
庁舎は間もなく耐用年数である築 50 年を迎え、学校や地域会館もその多くが築 30 年以上となっています。公営住宅はコンスタントに建設されてきましたが、2000 年以降は新築のペースも落ち着いています。人口構造の変化に合わせ、社会福祉関連施設が比較的新しく建設されています。

全体としては、旧耐震基準（昭和 56 年度以前、築 35 年以上）に建築されたものが、公共施設（建築物）のうち、施設数で 40.2%、延床面積で 39.6% を占めています。およそ 4 割の施設が旧耐震構造による建築物となっており、このような現状を踏まえた上で、将来を見据えた対応を考える必要があります。

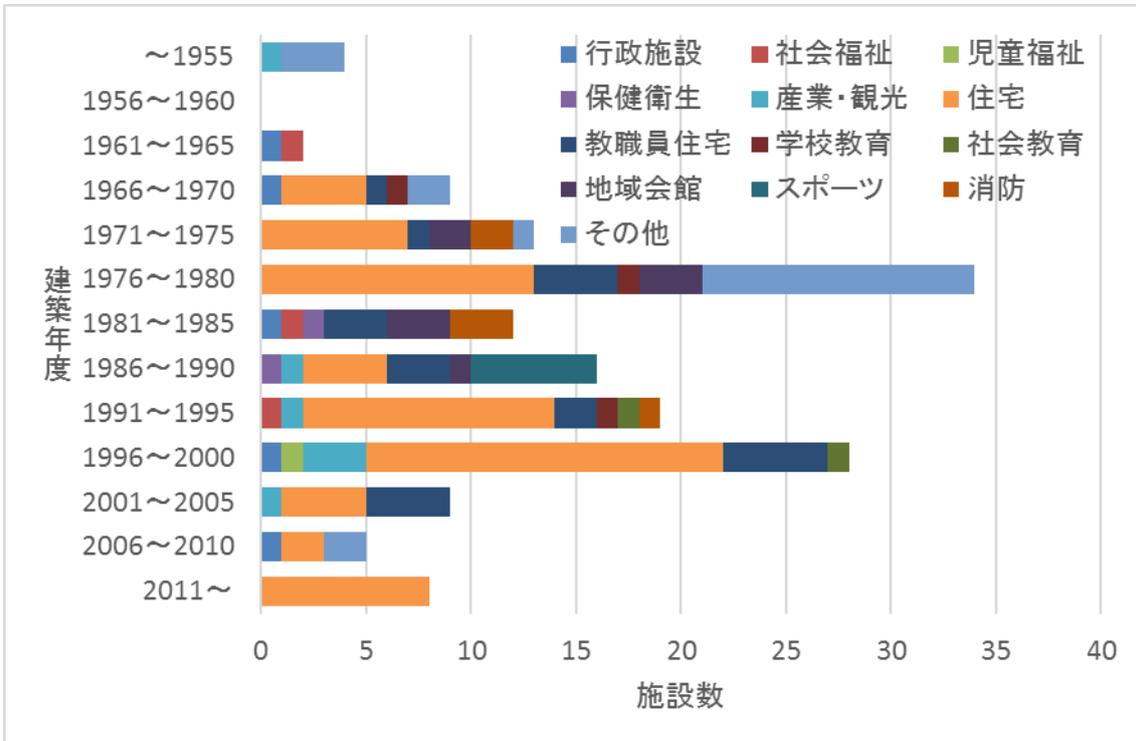
■施設分類別 築年数別 延床面積（㎡）



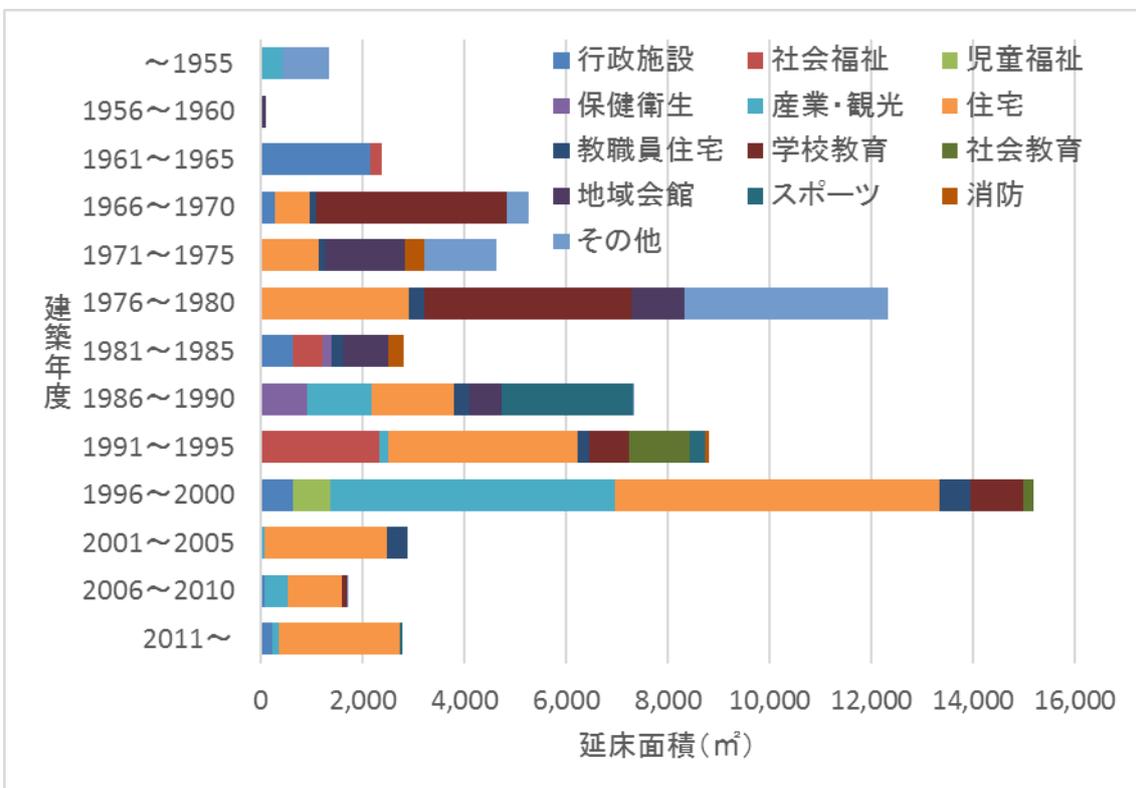
■ 公共施設（建築物）の築年数別の分布状況



■ 公共施設（建築物）の分類別の建築年度別分布（施設数）



■ 公共施設（建築物）の分類別の建築年度別分布（延床面積）



(2) 道路及び橋梁の建築年度別の状況

道路は、総延長の大半を占める約 77%が 30 年以上前に整備されたものであり、一方で約 15%が 2000 年以降に整備された新しいものです。

橋梁は、2000 年以降に新たに建築されたものはなく、総延長のうち約 57%が 30 年以上前に建築されています。

■道路および橋梁の建築年度別の状況

建築年度	道路		橋梁	
	実延長(m)	構成比	実延長(m)	構成比
2011～2015	778.00	0.3%	0.00	0.0%
2006～2010	13,865.90	5.5%	0.00	0.0%
2001～2005	22,890.10	9.1%	0.00	0.0%
1996～2000	770.30	0.3%	321.60	21.1%
1991～1995	3,023.50	1.2%	44.00	2.9%
1986～1990	16,218.20	6.5%	287.80	18.9%
～1985	193,353.40	77.1%	869.30	57.1%
計	250,899.40	100.0%	1,522.70	100.0%

※平成 26 年 3 月現在の固定資産台帳に直近の修正を加味し集計しています。

(3) 公共施設の老朽化率の状況

公共施設等の老朽化率は以下の計算式で表すことができます。老朽化率は 100%に近いほど老朽化が進んでいると言えます。平均的な資産老朽化率は、35%～50%程度とされています。

$$\text{老朽化率} = \frac{\text{減価償却累計額}}{\text{取得価格 (再調達価格)}}$$

この計算式を用いて現在の愛別町の資産分類ごとの老朽化率を示すと、下表の通りとなります。

前述の棒グラフでも見たように、庁舎や地域会館など、建築年度が古く、近年改修や新築されたものがない資産については、老朽化率が 80%を超えているものもあります。継続的に建設されてきた公営住宅や、比較的新しい施設がある社会福祉関連施設および児童福祉関連施設については、老朽化率が比較的低くなっています。

公共施設（建築物）全体では 64.2%となり、平均的な老朽化率と言われる 50%を超えています。

一方、インフラ系施設については、全体でも老朽化率は 50%未満であり、平均的な範囲に収まっています。

■ 公共施設の資産分類別の老朽化率

(単位：百万円、%)

大分類	番号	分類	取得価格 (百万円)	減価償却 累計額 (百万円)	期末簿価 (百万円)	老朽化率
公共施設 (建築物)	01	行政施設（庁舎等）	2,128	2,031	98	95.4%
	02	社会福祉	1,014	430	584	42.4%
	03	児童福祉	242	77	165	31.9%
	04	医療・衛生	327	198	129	60.6%
	05	産業・観光	1,068	604	464	56.5%
	06	住宅	4,258	1,803	2,455	42.4%
	07	教職員住宅	423	270	153	63.8%
	08	学校教育	1,800	1,337	462	74.3%
	09	社会教育	392	243	149	62.0%
	10	地域会館	700	584	116	83.5%
	11	スポーツ	861	440	420	51.2%
	12	消防	153	124	29	80.9%
	13	その他	1,453	1,367	86	94.1%
公共施設（建築物） 小計			14,819	9,509	5,310	64.2%
系施設 インフラ	01	道路	12,428	5,840	6,588	47.0%
	02	橋梁	8,155	3,050	5,106	37.4%
	03	公園	70	0	70	0.0%
	04	上下水道	4,194	1,729	2,466	41.2%
インフラ系施設 小計			24,847	10,618	14,229	42.7%
合計			39,666	20,127	19,539	50.7%

※平成26年3月現在の固定資産台帳に直近の修正を加味し集計しており、改修工事等の費用も含んでいます。

4. 総人口や年代別人口についての今後の見通し

(「愛別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」人口ビジョンによる)

(1) 総人口の推移と今後の見通し

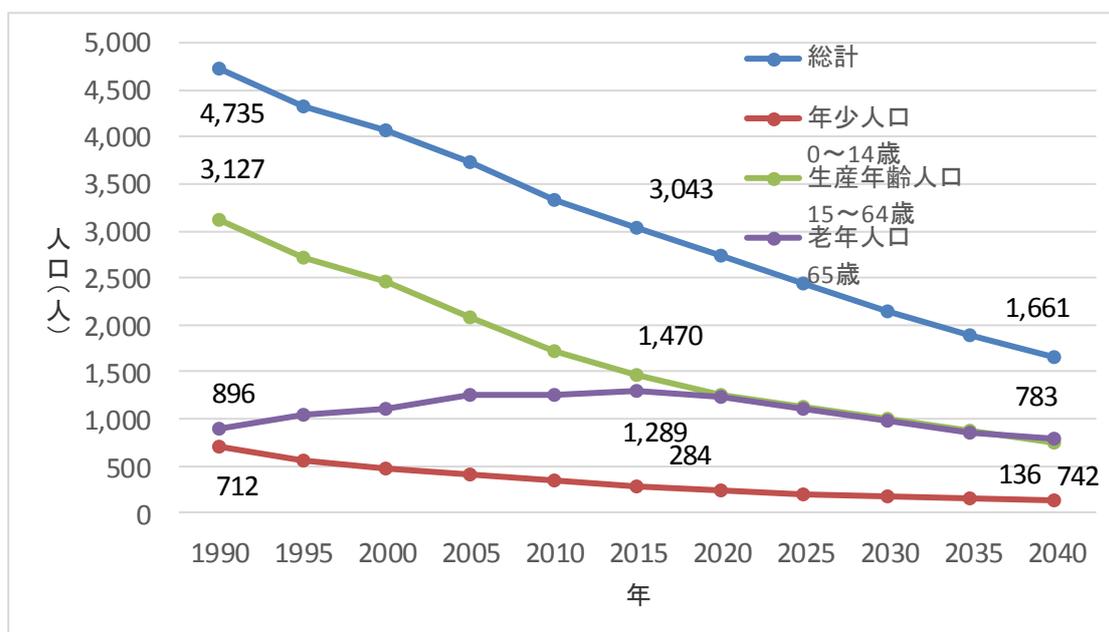
愛別町の人口は、昭和30年代前半に1万人を超えた時期がありましたが、その頃をピークに減少を続けています。

1955～1975年の高度経済成長期には大きく人口が減少しましたが、これは他の地域への人口の流出(社会減)が大きな要因と考えられています。

その後も、社会増減(転入数－転出数)については、ほぼ一貫して転出超過の状況が続いております。一方で自然増減(出生数－死亡数)については、出生率低下・母親世代人口の減少の影響で一貫して出生数が減り続けており、昭和63(1988)年までは出生数が死亡数を上回る時期もあったものの、平成に入って以降は死亡数が出生数を上回る「自然減」の時代に入っています。

国立社会保障・人口問題研究所によれば、今後も人口は減少を続け、平成52(2040)年には1,661人(現在から約50%減少)になるものと推計されています。また、総務省統計局「平成20～24年人口動態保健所・市区町村別統計」によれば、合計特殊出生率は1.30です。

■総人口および年代別人口の推移



※1990～2010年は国勢調査、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所を参照しています。

(2) 年代別人口の推移と見通し

次に、年代別の人口の推移を見えます。

愛別町では、生産年齢人口および年少人口は長期的には減少傾向が続いています。一方、老年人口は、生産年齢人口が順次老年期に入り、また、平均余命が延びたことから、一貫して増加を続けていましたが、近年は横這いとなっています。

このままの推移を続けると、数年のうちに老年人口が生産年齢人口を上回ることになると予想されます。

尚、「愛別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における住民を対象としたアンケート調査では、希望出生率（未婚の男女の結婚希望割合や理想とする子供の数等も加味したもの）は1.75人という結果になっています。

■年代別人口の推移

(単位：人)

年代	平成 2年	平成 7年	平成 12年	平成 17年	平成 22年	平成 26年	平成 31年
総人口	4,735	4,322	4,065	3,739	3,328	3,160	2,800
年少人口 0～14歳	712	559	479	404	342	293	230
生産年齢人口 15～64歳	3,127	2,712	2,470	2,081	1,731	1,582	1,290
老年人口 65歳以上	896	1,051	1,116	1,254	1,255	1,285	1,280

※平成2年～平成22年は国勢調査、平成26年は住民基本台帳（10月1日現在）によるものです。

※平成31年は第10次愛別町振興計画によるものです。

5. 公共施設等の更新等に係る中長期的な経費の見込み

(1) 公共施設等の改修・更新に係る費用

現在、愛別町が保有する公共施設等（建築物、公園、道路、橋梁）を耐用年数通りにすべて更新（建て替え）すると仮定すると、2070年までに約396億円の更新費用がかかるものと推計されます。

このうち、インフラ系施設を除いた建築物の更新費用は約148億円になります。下のグラフは公共施設（建築物）の施設分類ごとの更新時期と更新費用の分布を示しています。

建築物については、既に耐用年数を超えて使用されているものもあり、2015年度の時点で更新時期に達しているものの更新費用は、約44億円にのぼります。更新費用の大きいものでは、庁舎が約20億円で、2015年に耐用年数を迎えています。庁舎、住宅、学校の更新費用が建築物の更新費用全体の5割以上を占めています。

公共施設の改修・更新費用が一時期に集中すると、多額の財源不足に陥るおそれがあり、財政への大きな負担が懸念されます。仮にこれらの更新費用の合計396億円を、2016年度以降の55年間で平準化したとすると、年平均で約7億2千万円、人口一人当たりの負担金額は年間約23万円となります。住民の一人一人が毎月1万9千円程度の金額を負担することになります。（平成27年1月時点の人口3,106人で算出）

先に挙げた通り、今後の総人口の減少傾向から、財源不足が予想されます。また、年代別の人口推移の傾向を考慮すると、建築物のうち住宅や学校にかかる費用を、社会福祉関連の施設へと比重をシフトする必要性なども想定されます。いずれにせよ、将来の人口推移を踏まえた公共施設等の改修・更新費用の平準化に向けた取り組みが必要となります。

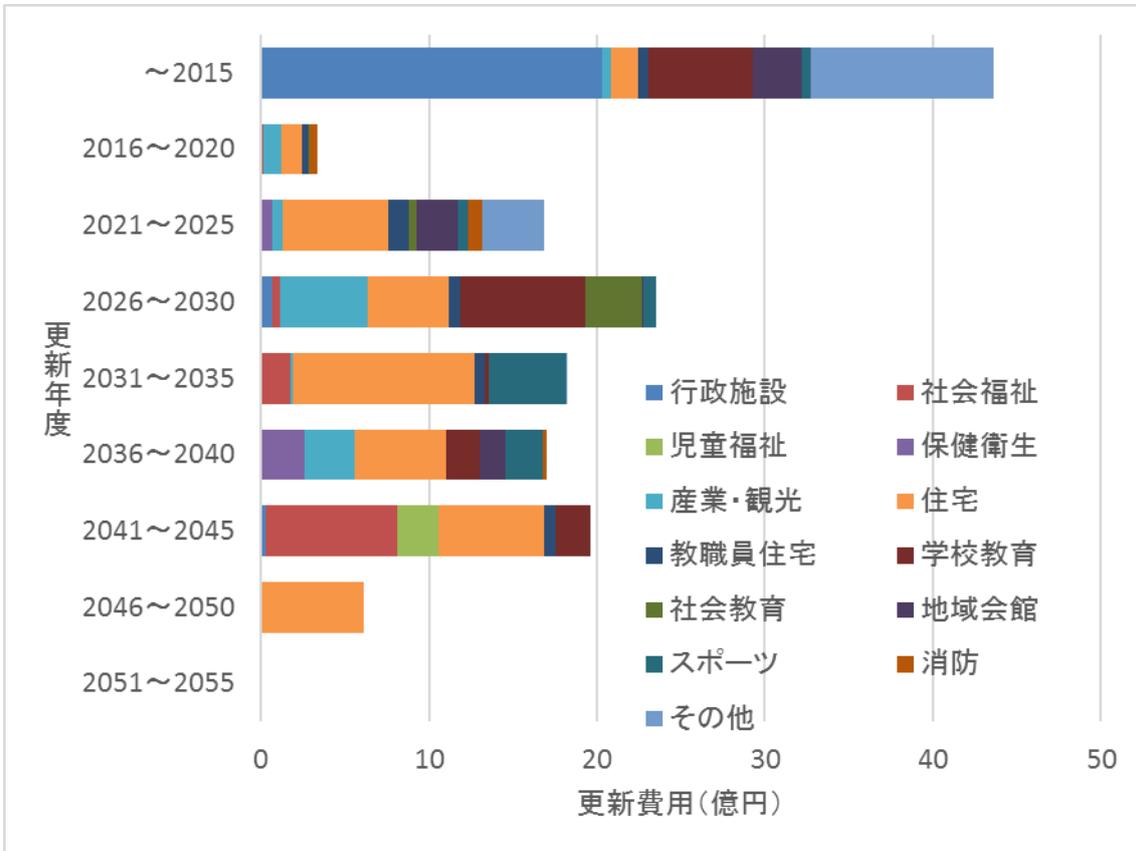
■公共施設の施設分類別 更新費用

施設分類		更新費用（百万円）
公共施設（建築物）合計		14,819
インフラ系施設	道路	12,428
	橋梁	8,155
	公園（※土地のみ）	0
	上下水道	4,194
合計		39,596

※更新費用には、改修工事等の費用も含まれます。

※土地の取得価格は更新費用には含まれません。

■ 公共施設の更新到達年度と更新費用（すべての公共施設を建て替えた場合）



※上記グラフには道路や橋梁などのインフラ施設は含みません。

(2) 公共施設等の維持管理に係る費用

一方、公共施設の維持・管理に係る費用についても、施設分類ごとに紐づけて集計してみます。下表は、平成23年度～平成25年度の3カ年分の歳入歳出決算書を基に、歳出のうち公共施設の維持・管理に係る費用を、関係する公共施設ごとに集計し、3カ年平均を算出したものです。

最も維持・管理費用がかかっているのは診療所の管理費用です。次いで庁舎（町議会・行政関係の費用）、学校関連の維持管理費用です。また、将来の年代別の人口推移等を勘案すると、医療関係（医療・衛生）及び社会福祉の分野に係る費用は今後も横這いもしくは増加の傾向を示すものと予想されます。

更に、事業区分ごとの経費科目の内訳で金額の大きいものを抽出したところ、大半の施設に共通するものとして、施設管理委託料があげられます。社会福祉や児童福祉、学校教育等、福祉や教育に関する施設においては、人件費（臨時雇賃金）も主要な経費としてその多くを占めています。

年間の維持・管理費用について人口一人当たりの負担額を算出すると、15万8千円となります。住民の一人一人が毎月1万3千円程度の金額を負担することになります。（平成27年1月時点の人口3,106人で算出）

■各公共施設分類に係る維持・管理費用

（単位：千円、％）

施設分類	主な経費（事業区分）	金額/年	一人 当り 負担 額	構成比
	主な経費（節）			
行政施設 （庁舎等）	議会管理経費、行政管理経費、 情報通信施設管理事業	88,113	28	17.9%
	人件費（報酬、共済費）、印刷製本費、 通信運搬費、施設管理委託料			
社会福祉	高齢者生活福祉センター管理経費、 地域包括支援センター関係経費	36,864	12	7.5%
	人件費（臨時雇賃金）、施設管理委託料			
児童福祉	さくら保育所関係経費、 子育て支援事業関係経費	27,959	9	5.7%
	人件費（臨時雇賃金）			
医療・ 衛生	保健衛生総務関係経費、診療所管理経費、 ごみ収集事業、	113,778	37	23.1%
	人件費（臨時雇賃金）、その他委託料			

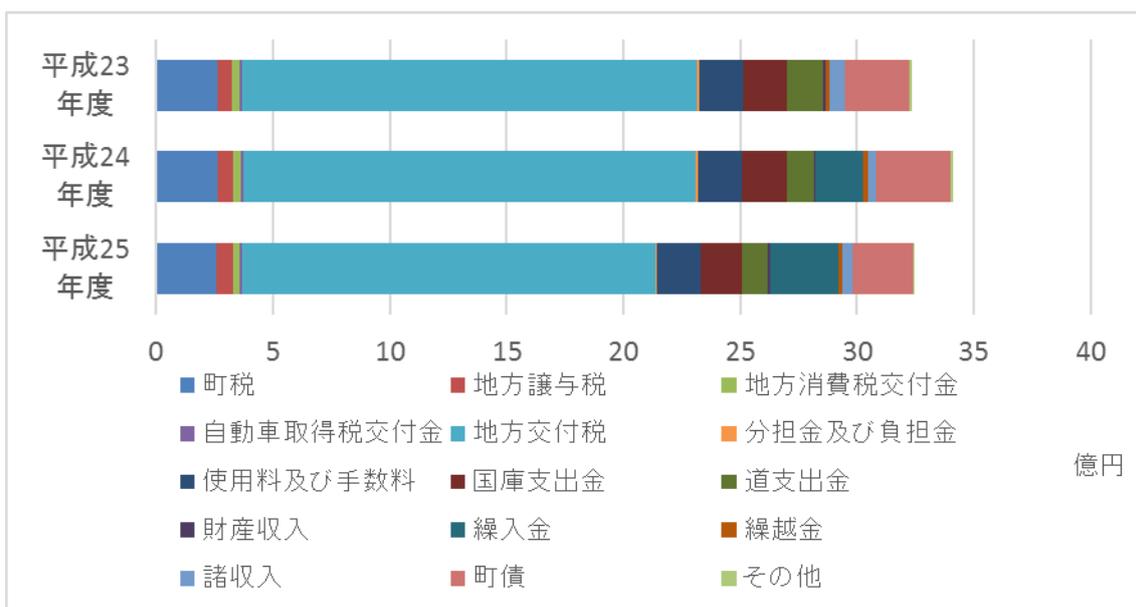
施設分類	主な経費（事業区分）	金額/年	一人 当り 負担 額	構成比
	主な経費（節）			
産業・ 観光	農村環境改善センター管理経費、 農村公園管理経費、蔵ら管理経費	27,797	9	5.6%
	施設管理委託料			
住宅・ 教員住宅	住宅管理経費、金富団地公営住宅等整備事業	23,527	8	4.8%
	修繕費、その他委託料			
学校教育	小学校管理経費、中学校管理経費、 スクールバス管理経費	61,424	20	12.5%
	人件費（臨時雇賃金）、燃料費、施設管理委託料			
社会教育	社会教育施設管理経費、宿泊研修施設管理経費	4,387	1	0.9%
	施設管理委託料			
地域会館	公民館管理経費、図書館管理経費、 総合センター管理経費	18,822	6	3.8%
	施設管理委託料			
スポーツ	ファミリースキー場管理経費、 海洋センター管理経費	13,599	4	2.8%
	施設管理委託料、修繕費			
道路・ 橋梁	道路維持管理経費、橋梁長寿化修繕計画策業務、 除雪管理経費	39,570	13	8.0%
	施設管理委託料、その他委託料			
河川	愛別川河川維持業務	1,958	1	0.4%
	修繕費、その他委託料			
公園	リバーフロントパーク管理経費、 オートキャンプ場管理経費	14,664	5	3.0%
	施設管理委託料			
消防	施設修繕費、浄化槽維持管理委託料	831	0	0.2%
	修繕費、委託料、賃借料			
その他	地域振興関係経費、車輛管理経費、 町営バス運行管理業務	18,916	6	3.8%
	人件費（臨時雇賃金）、燃料費、修繕費			
合計		492,209	159	100.0%

※平成 23～25 年度の一般会計歳出決算書を基に集計しています。

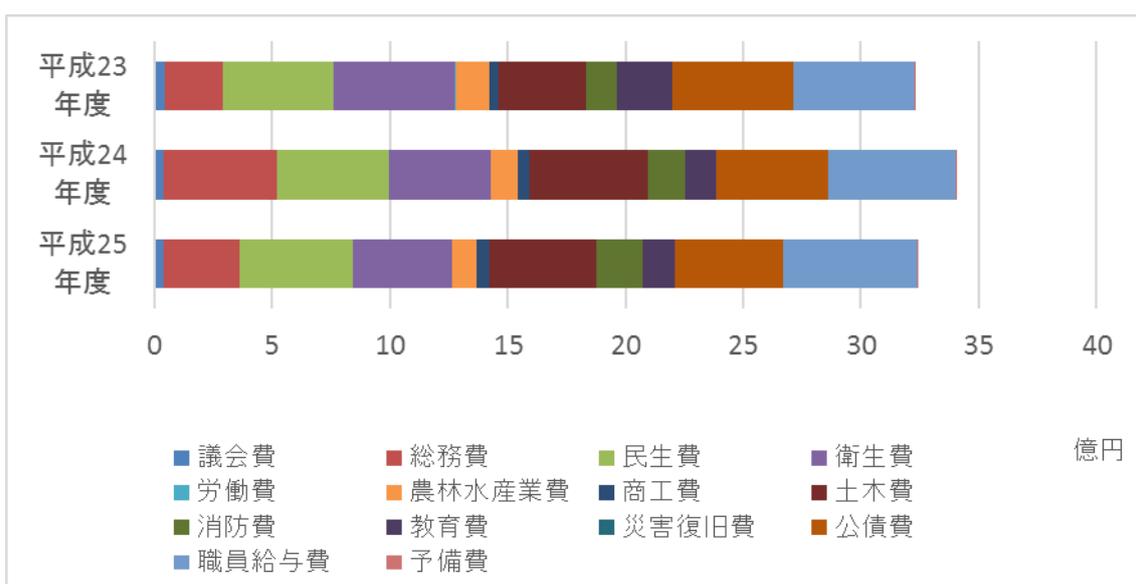
(3) 財政状況

愛別町の平成23～25年度の3ヵ年の歳入・歳出の内訳は下のグラフの通りです。歳入は、地方交付税がその5～6割を占め、これに町税および町債を合わせると、歳入全体の7割を超えます。歳出は、総務費、民生費、衛生費、土木費、公債費、職員給与費の合計で全体の8割超となります。内訳の割合は毎年ほとんど変化なく推移しています。

■ 歳入の内訳と推移



■ 歳出の内訳と推移



(4) 財政シミュレーション

近年の財政状況を基に、前述した公共施設等の改修・更新費用や維持・管理費用を踏まえ財政シミュレーションすると下表の通りになります。

なお、シミュレーションの条件は下記の通りとしました。

- ① 税込、交付税、補助金、使用料手数料：人口の減少に伴い、平成 25 年度から 5 年ごとに 1% ずつ減少するものと仮定
- ② 地方債、繰入金、その他：平成 25 年度から変更なし
- ③ 改修・更新費用：上記（1）より年平均 7 億 1,500 万円
- ④ 維持・管理費用：上記（2）より平成 23～25 年度の平均と同額と仮定
- ⑤ ③④以外の経費：平成 25 年度から変更なし

■ 財政シミュレーション

科目		平成 25 年度	平成 35 年度	平成 45 年度	平成 55 年度
歳入	税込	327,294	320,781	314,397	308,141
	交付税	1,768,000	1,732,817	1,698,334	1,664,537
	補助金	54,920	53,827	52,756	51,706
	使用料手数料	188,441	184,691	181,016	177,413
	地方債	256,600	256,600	256,600	256,600
	繰入金	290,092	290,092	290,092	290,092
	その他	359,910	359,910	359,910	359,910
	歳入合計	3,245,257	3,198,718	3,153,105	3,108,399
歳出	人件費	573,047	573,047	573,047	573,047
	公債費	457,057	457,057	457,057	457,057
	その他経費	2,215,153	2,380,157	2,380,157	2,380,157
	公共施設等維持 ・管理費用	463,374	491,378	491,378	491,378
	公共施設等改修 ・更新費用	578,000	715,000	715,000	715,000
	歳出合計	3,245,257	3,410,261	3,410,261	3,410,261
収支	0	-211,543	-257,156	-301,861	

上記シミュレーションによると、人口の減少に伴い歳入が減少する一方、公共施設等に関する経費は一定額で支出が継続するため、徐々に収支のマイナス分が増加し、30 年後には 3 億円の赤字が見込まれることとなります。

第2章 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針

1. 現状を踏まえた課題抽出

(1) 公共施設等の改修・更新等への対応

過去に整備を進めてきた公共施設等の老朽化が進んでいます。今後、これらの公共施設等の改修・更新等の費用が発生することが見込まれ、今までのように改修・更新等への投資を継続していくと、町の財政を圧迫し、他の行政サービス（機能）に重大な影響を及ぼす可能性が出てくることが予想されます。

このような状況を回避するには、改修・更新等にかかる費用を全体的に抑制するとともに平準化させることが必要であり、今後は、中長期的な視点による計画的・戦略的な公共施設等の再編成・管理に取り組み、将来にわたっての取捨選択を行う必要があります。

また、現在、公共施設等の情報については、一元管理し、より効率的な管理・運営を推進していくための組織体制の構築が課題となります。

(2) 人口減少・少子高齢化社会への対応

愛別町の総人口は、昭和30年代前半をピークに高度経済成長期に急激に減少し、以降も緩やかではありますが減少傾向が続いています。国立社会保障・人口問題研究所によれば、平成52（2040）年には現在の約半分である1,661人になるものと推計されています。

その為、このような人口構成の大きな転換に伴う町民のニーズの変化に対応した、適正な公共施設等の総量規模や配置を検討していく必要があります。

また、地区によって人口増減の傾向や少子・高齢化の進行状況が異なっていることから、各地区の特性に応じた公共施設等の適正な配置や管理・運営を行っていく必要があります。

(3) 逼迫する財政状況への対応

今後、人口の減少に伴い町税収入等一般財源の減少が予想されることに加えて、少子・高齢化に伴う扶助費等の義務的経費が増加することから、投資的経費等の公共施設等の維持管理のための財源確保が出来なくなることが見込まれます。

こうした厳しい財政状況の中で、公共施設等の管理・運営にかかる費用を縮減し、なおかつ機能の維持を図っていくことが大きな課題となります。

また、民間企業との連携や、町民との協働も視野に入れながら、事業の効率化や維持管理費の削減に取り組む必要があります。

第10次愛別町振興計画においても、財政運営の簡素効率化を謳っています。そのために、普通建設事業に係る地方債発行の抑制、経常経費の節減合理化、公共施設の運営・管理等の見直しや適切な維持修繕のための総合管理計画の策定を行い、更に事務事業や組織・機構の適宜見直し、適正な定員管理による給与の適正化、民間委託の推進など行財政全般にわたる改革を積極的、計画的に推進します。

2. 公共施設マネジメントの基本的考え方

(1) 基本的な考え方

公共施設マネジメントとは、縦割りにより各部署で管理していた公共施設等を一元的に把握して将来の費用負担を推計し、その上で、老朽化した施設の統廃合や余剰施設の複合的な活用、施設の長寿命化や民間資金の導入などを行い、一定の行政サービスを維持しつつ、長期的な財政支出の削減を図る取組みをいいます。

現状や課題に関する基本認識を踏まえ、公共施設マネジメントにおいては、人口構成など地域の特性や住民ニーズを踏まえながら、愛別町総合計画において、目指すべき将来像「人にやさしいまちづくり」視点を重視し、地域の将来像を見据えた公共施設等の適正な配置等の検討を行っていきます。

また、将来の人口動向や財政状況を踏まえ、新規の公共施設（建築物）は、供給量を適正化することとし、公共施設等のコンパクト化（統合・廃止、規模縮小等）の推進を図ります。

既存施設については、老朽化の状況や利用実態及び今後の需要見通しを踏まえ、今後とも保持していく必要があると認められた施設については、計画的な修繕・改善による品質の保持に努め、施設の有効活用を図ります。

また、情報の一元管理や共有を図るための管理システムの構築、全庁的な推進体制の確立及び民間活力の導入の検討などにより、効率的な管理・運営を図ります。

①公共施設（建築物）

■供給に関する方針

○機能の複合化等による効率的な施設配置

- ・老朽化が著しいが、町民サービスを行ううえで廃止できない施設について

ては、周辺施設の立地状況を踏まえながら、機能の複合化や更新等により、効率的な施設配置及び町民ニーズの変化への対応を図ります。

○施設総量の適正化

・町民ニーズや上位・関連計画、政策との整合性、費用対効果を踏まえながら、人口減少や厳しい財政状況を勘案し、必要なサービス水準を確保しつつ施設総量の適正化（縮減）を図ります。

■品質に関する方針

○予防保全の推進

・日常点検、定期点検を実施し、劣化状況の把握に努めるとともに、点検結果を踏まえた修繕や改修の実施により予防保全に努めます。

○計画的な長寿命化の推進

・建築後長期間経過した施設については、大規模改修の検討と併せ「愛別町耐震改修促進計画」に基づく耐震化を推進するとともに、長期的な修繕計画の策定や点検等の強化などにより、計画的な維持管理を推進し、必要に応じて施設の長寿命化を図ります。

■財務に関する方針

○長期的費用の縮減と平準化

・改修・更新等の費用の縮減と更新時期の集中化を避けることにより、歳出予算の縮減と平準化を図ります。

○維持管理費用の適正化

・現状の維持管理にかかる費用や業務内容を分析し、維持管理費用や施設使用料等の適正化を図ります。

○民間活力の導入

・PPPやPFIなどの手法を活用し、施設の整備や管理・運営における官民の連携を図り、財政負担の軽減と行政サービスの維持・向上を図ります。

②インフラ系施設

■品質に関する方針

○長寿命化の推進

・道路、橋梁、河川、上下水道、公園といった施設種別ごとの特性を考慮し、中長期的な経営視点に基づく計画的な維持管理を行います。

■財務に関する方針

○維持管理費用の適正化

・計画的な点検や維持補修により、維持管理費用の適正化及び平準化を図ります。

○民間活力の導入

・PPP や PFI などの手法を活用し、施設の整備や管理・運営における官民の連携を図り、財政負担の軽減と行政サービスの維持・向上を図ります。

■供給に関する方針

○社会構造の変化を踏まえ、適正な供給を図ります。

3. 計画期間

計画期間は、平成 28 年度から平成 37 年度までの 10 年間とし、今後の上位・関連計画や社会情勢の変化などの状況の変化に応じて適宜見直しを行っていくこととします。

4. 取り組み体制の構築及び情報管理に関する方策

(1) 取り組み体制

①公共施設マネジメント体制

公共施設等総合管理計画策定に当たっては、副町長、課長職で構成され、基本計画の方向性を検討する「愛別町公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進会議（課長会議）」を設置します。また、具体的な再編・再度配置案を検討するため、関係係長職以上職員で構成する検討会議を開き、全庁的に検討する推進体制を構築します。

②研修会の開催によるマネジメント意識の醸成

公共施設マネジメントを推進するためには、職員一人ひとりが、その意義や必要性を理解して取り組んでいく必要があります。そのため、全職員を対象とした研修会の開催等により、マネジメント意識の共有化を図ります。

(2) 情報の共有と管理

固定資産台帳・公有財産台帳を一元的な情報データとして活用するものとして、修繕履歴や建て替え等に関する情報を更新していくこととします。

5. 公共施設等の管理に関する方針

(1) 公共施設（建築物）の維持管理の方針

公共施設（建築物）の維持管理及び改修・更新は、建設時から経過した年月によって、その対処方法が異なります。

異なる施設ごとに点検・診断、耐震化、改修・修繕、長寿命化、更新の実施方針を整理します。

なお、建築物以外の屋外施設については、適切な点検・診断等により効率的な維持管理に努めます。

(2) インフラ系施設の維持管理の方針

インフラ系施設は都市の基盤となるものであり、利用者の安全性確保や安定した供給・処理が行われることが重要です。そのため、適切な点検・診断を行い、その結果に基づき必要な措置を行い、その結果得られた施設の状態等を記録し、次の点検・診断に活用するという「メンテナンスサイクル」の構築により効率的な維持管理を推進します。また、このような取り組みにより維持管理費用の縮減・平準化を図ります。

(3) 安全確保の実施方針

日常点検や定期点検により、施設の劣化状況の把握に努めます。さらに、災害時に防災拠点や避難所となる公共施設（建築物）もあることから、点検の結果をデータベース化し、危険性が認められた施設については、施設の利用状況や優先度を踏まえ計画的な改修、解体、除去を検討し、対応していきます。

また、今後利用見込みのない施設については、周辺環境への影響を考慮し、解体、除去するなどの対策を講じ、安全性の確保を図ります。

(4) 長寿命化の実施方針

今後も保持していく必要がある施設については、定期的な点検や修繕による予防保全に努めるとともに、計画的な機能改善による施設の長寿命化を推進します。全庁的な観点から、他の計画と整合を図りながら、公共施設マネジメント全体として推進していきます。

また、今後新たに策定する個別の長寿命化計画については、公共施設等総合管理計画における方向性との整合を図るものとします。

(5) 統合や廃止の推進方針

施設の整備状況、利用状況、運営状況、費用の状況等を踏まえ、必要に応じて公共施設等の統合・廃止や規模縮小等を検討します。検討に当たっては、施設の現状を評価するために必要な各種施設毎の費用の比較による費用対効果や機能の水準、目的への適合性等の指標を用いて、「継続使用」、「改善使用」、「用途廃止」、「施設廃止」等の方向付けを行います。

さらに、その方向付けを踏まえ、施設特性を考慮した町全体を対象とするサービス（機能）に対応する施設及び地区を対象とするサービス（機能）に対応する施設の維持・効率化等の検討を推進していきます。

（６）総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針

①町民との情報共有と協働体制の構築

公共施設マネジメントの推進に当たっては、町民が利用する施設の規模等の縮小や廃止等も視野に入れての検討を伴うことから、町民の理解が必要不可欠です。そのため、町のホームページを活用した計画の進捗報告や、リーフレットの発行により公共施設に関する情報や課題意識の共有を図ります。

また、町民からの意見を整理して公共施設マネジメントに反映させる仕組みや、町民との協働による公共施設の維持管理のあり方についても検討していきます。

②民間活力の活用体制の構築

公共施設マネジメントを推進する上で、運営経費の適正化と町民サービス水準の維持・向上を両立させていくことが大きなテーマです。現在も体育館等の町民利用施設で指定管理者制度を導入していますが、今後とも、PPPやPFIの導入により民間企業の資金やノウハウを活用し、事業の効率化や町民サービスの充実を図るための体制構築を目指します。

6. フォロー体制に関する実施方針

（１）見直し

この計画の内容については、今後の財政状況や環境の変化に応じて、適宜見直しを行います。

（２）協議・検討

公共施設等の適正配置の検討に当たっては、議会や町民に対し随時情報提供を行い、町全体で認識の共有化を図ります。

第3章 施設類型ごとの管理に関する基本方針

1. 施設類型ごとの管理に関する基本方針

第2章における公共施設等の基本的な方針を踏まえ、第10次愛別町振興計画とも同期を図りながら、以下では、公共施設（建築物）、インフラ系施設のそれぞれの施設類型ごとに基本的な方針を整理します。

2. 公共施設（建築物）に関する基本方針

（1）統廃合（機能移転）

①統廃合の基本的な視点

耐用年数を迎えた施設等で、利用率、効用等の低い施設等については、今後もその利用及び効用の向上する見込みのない場合においては、原則として統廃合（機能移転）及び取り壊しの対象とします。

②役場庁舎等の建て替え

役場本庁舎については、耐震化についての検討結果を踏まえ、多機能化も視野に入れ、新規に建て替える方針にて検討を行います。

また、特産品であるきのこなどの生産環境を維持・継続していくため、老朽化した施設（旧農産加工場等）を取り壊し、観光・物産の誘客販売拠点となるよう独自性を持った特産品加工研究・販売所などの施設の検討を行いながら愛別ブランドを確立するため積極的な取り組みを支援します。

③人口推移／サービス需要への対応

集会施設に関しては、公民館のほか、コミュニティセンター、基幹集落センター、地区会館などがあり、全ての地域内に存在します。これらを更新する場合は、必要な量に削減（統廃合）します。

④学校の統廃合

学校教育に関連する施設については、地域の実情と将来の人口推移を踏まえ、機能の充実を図るとともに、施設の長寿命化により現状を維持・継続するものとします。具体的には、幼稚園と保育所の両機能を備えた幼児センターの充実を図る一方で、学校施設の長寿命化及び省エネルギー化の推進に努め、小・中学校の合併についても視野に入れながら、施設の相互連携による教育環境づくりに注力していきます。

⑤住宅の対応

公営住宅に関しては、愛別町住生活基本計画及び愛別町公営住宅等長寿命化計画に基づき、平成25年度から実施している公営住宅等の建て替えや、例年実施している維持補修により長寿命化を図ります。平成22年度に平成31年度までの計画を策定し、中間年（5年目）の平成27年度に二つの計画の見直しを行い、適正な管理戸数・住宅規模の設定をし、計画的な整備を進めます。

⑥スポーツ施設などの更新

石狩川親水緑地公園内にあるフィールドボールコース、サッカーコート、スポーツ公園内のテニスコートなどのスポーツ施設やオートキャンプ場、リバーフロントパーク内にあるきのこの里パークゴルフ場等その他の施設については、例年実施している維持補修により長寿命化を図りつつ、更新の必要性を検討し、施設活用の合理化に努めていきます。

（2）民間委譲

施設の民間委譲を検討する。委譲時期は、現状の施設の利用状態、老朽化の度合い、民間事業者の成熟度などを勘案のうえ個々に決定します。

対象施設としては、地域会館、廃校舎などが想定されます。

民間委譲の方法としては、民間の意向を提案方式などにより事前に広く求めることが必要となります。それでも代替可能な民間事業者がない場合は、民間委譲は困難となるため、統廃合、広域化の対象とします。

（3）広域化

近隣住民の利用可能な施設としては、公民館、運動施設（野球場、パークゴルフ場、グラウンド、体育館等）、公立病院、図書館が想定されます。

広域化には、（ア）一部事務組合等により共同所有する、（イ）他自治体の所有施設を利用する、（ウ）自治体の所有施設に対して他自治体住民に利用させる代わりに当該自治体に費用を分担してもらい、等の形態が考えられます。

愛別町の公共施設においては、第10次振興計画の中で、火葬場の運営について、近隣の町との広域化を検討課題としてあげています。

3. インフラ系施設に関する基本方針

道路、橋梁等については、個別に定める長寿命化計画等に従って維持管理、修繕、更新、取り壊し等を進めていきます。

その他施設については、愛別町振興計画との整合性を図り、本計画に準じて継続的に見直しを行い、維持管理、修繕、更新等を実施します。

(1) 道路

町道については、幹線道路網の維持整備と生活に密着した一般道の維持修繕管理に努めます。

公共土木施設の定期点検を行うことにより、第3者被害を未然に防ぎ、長寿命化修繕計画等に基づいた補修補強に努めます。冬期間の交通確保を含め、スタッドレスタイヤに対応した管理体制の確保に努めます。

また、公共交通については、継続して公共交通会議等において見直しを検討し、より良い公共交通体系の実現や、バスセンターの整備等、環境づくりに努めます。

(2) 公園

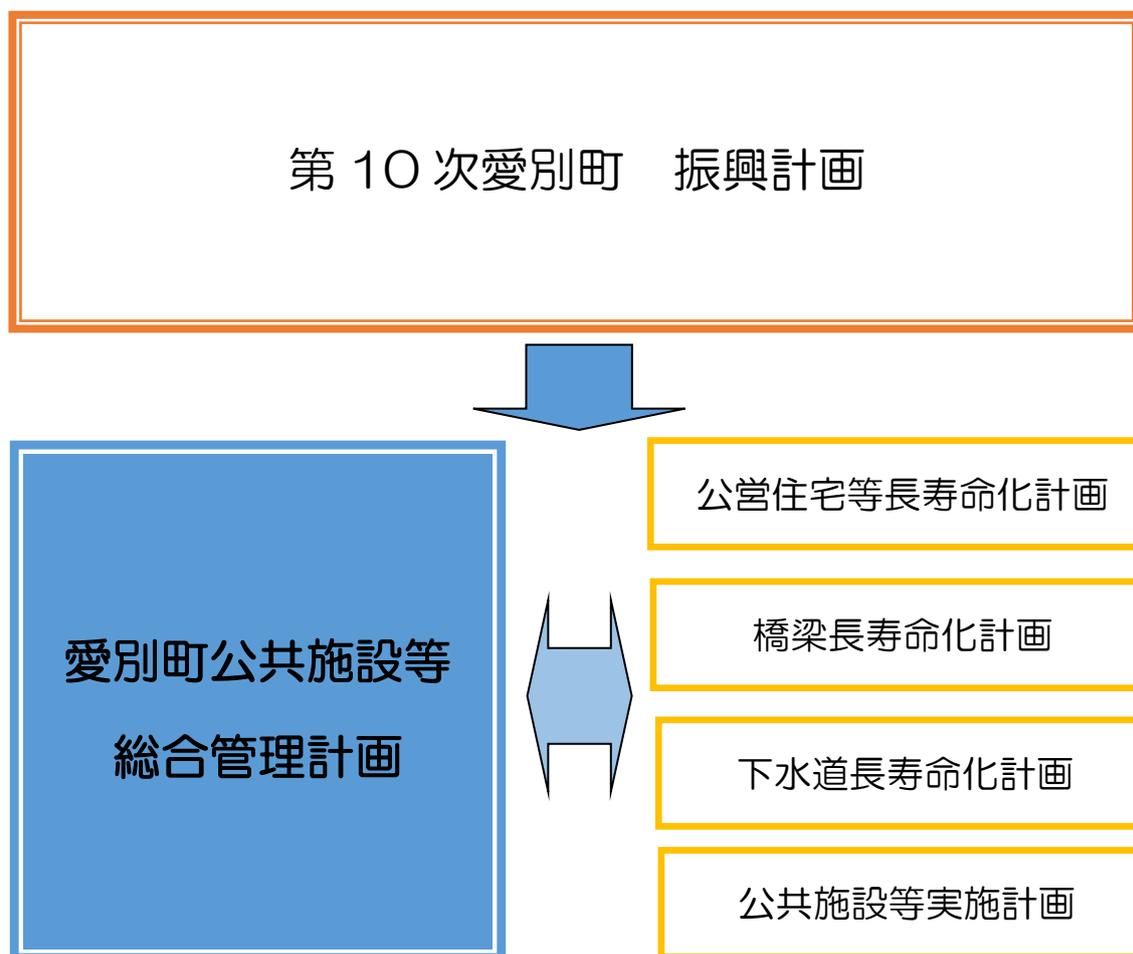
中央地区のリバーフロントパークは、きのこの里パークゴルフ場を核として開設していますが、農村と都市住民との交流の場として、施設の充実を図ることが必要です。更に、石狩川愛別頭首工管理棟周辺の公園整備は、各種団体の支援や協力を得ながら、樹木の植栽を中心に整備を進めています。

(3) 上下水道

上水道については、平成23年度から10年計画で浄水場設備及び配水管の更新事業を実施しており、安全で良質な水道水の安定供給に重点をおきながら、効率的な水道施設への更新事業を進めます。

下水道については、平成27・28年度で長寿命化計画を策定中であり、管路及び終末処理場の適正な維持管理に努めます。また、下水道施設については、第1期改築更新事業が完了しており、今後はライフサイクルコスト最小化の観点をもふまえ、機能向上も考慮した長寿命化対策を含めた第2期改築更新事業を実施していきます。

■本計画の位置づけ



公共施設等総合管理計画は、町の振興計画に基づき、各長寿命化計画等の個別の計画と相互に連携を図りながら公共施設等実施計画を策定し、公共施設の管理・整備を通じて住みよいまちづくりの一端を担うものです。

■参考資料 1 公共施設（建築物）

（平成 28 年 1 月現在）

No.	施設名称	建築 年度	更新 年度	老朽 化率	面積 (㎡)
	所在地				
1. 行政施設（庁舎等）					
1	役場本庁舎	1964	2015	100.0%	1,091
	愛別町字本町 179	増築 1994	2044	40.0%	1,066
2	車庫	1968	2015	100.0%	269
	愛別町字北町 240-1				
3	北町車庫・倉庫	1983	2015	100.0%	617
	愛別町字北町 249-13				
4-1	除雪総合車庫	1997	2028	54.8%	631
	愛別町字南町 510-1				
4-2	除雪車両総合車庫	2011	2042	9.7%	236
	愛別町字南町 510-20				
5	北町倉庫	1976	2015	100.0%	71
	愛別町字北町 315-1				
2. 社会福祉施設					
1	老人福祉センター	1981	2031	66.0%	597
	愛別町字協和 145-3				
2	共生型交流館	1964	2015	100.0%	217
	愛別町字本町 170				
3-1	高齢者生活福祉センター	1995	2045	38.0%	2,226
	愛別町字北町 298-1				
3-2	高齢者生活福祉センター 車庫	1995	2020	76.0%	110
	愛別町字北町 298-1				
3. 児童福祉施設					
1	さくら保育所	1999	2046	31.9%	742
	愛別町字北町 250-17				
4. 医療・衛生施設					
1	愛別診療所	1986	2036	56.0%	909
	愛別町字本町 129-1				
2-1	火葬場	1981	2022	80.5%	159
	愛別町字北町 301-1				
2-2	火葬場 残骨入れ場	1981	2022	80.5%	5
	愛別町字北町 301-1				

No.	施設名称	建築 年度	更新 年度	老朽 化率	面積 (㎡)
	所在地				
5. 産業・観光施設					
1-1	北町農村公園 トイレ	1996	2015	100.0%	36
	愛別町字北町 307-11				
1-2	北町農村公園 四阿	1996	2015	100.0%	166
	愛別町字北町 307-11				
1-3	あいべつ体験農園管理棟	1996	2020	75.0%	116
	愛別町字北町 307-11				
1-4	北町農村公園 展望台	1996	2015	100.0%	14
	愛別町字北町 307-11				
2-1	あいべつリバーフロントパーク トイレ	2002	2017	80.0%	16
	愛別町字中央 2015				
2-2	あいべつリバーフロントパーク 休憩所 (H24)	2012	2034	9.1%	49
	愛別町字中央 2016				
2-3	あいべつリバーフロントパーク 休憩所 (H26)	2014	2036	0.0%	72
	愛別町字中央 2016				
3-1	あいべつオートキャンプ場 管理棟	1995	2019	79.2%	177
	愛別町字愛山 1005-5				
3-2	あいべつオートキャンプ場 多目的用トイレ	2002	2033	38.7%	32
	愛別町字愛山 1005-5				
4	豚尿処理センター	1998	2029	51.6%	558
	愛別町字愛山 464				
5-1	農村環境改善センター	1988	2038	52.0%	1,199
	愛別町字北町 298-19				
5-2	農村環境改善センター 備品庫	1989	2027	65.8%	66
	愛別町字北町 306-1				
6-1	堆肥センター (開放型管理棟)	1997	2028	54.8%	2,018
	愛別町字伏古 134-3				
6-2	堆肥センター (天日乾燥棟)	1997	2028	54.8%	1,701
	愛別町字伏古 134-1				

No.	施設名称	建築 年度	更新 年度	老朽 化率	面積 (㎡)
	所在地				
6-3	堆肥センター（原料棟）	1998	2029	51.6%	245
	愛別町字伏古 134-3				
6-4	堆肥センター（後熟棟）	1998	2029	51.6%	400
	愛別町字伏古 134-1				
6-5	堆肥センター（袋詰め棟）	1998	2022	66.7%	351
	愛別町字伏古 134-1				
6-6	堆肥センター（堆肥保管庫）	2008	2039	19.4%	462
	愛別町字伏古 134-2				
7	蔵 KURARA ら	1924	2015	100.0%	423
	愛別町字本町 119				
6. 住宅					
1	金富団地南町ハイム（特公賃）	1994	2032	52.6%	475
	愛別町字南町 492-3				
2	金富団地ファミリーユ 101・102（特公賃）	1999	2021	68.2%	222
	愛別町字南町 492-12				
3	金富団地ファミリーユ 201・202（特公賃）	2000	2022	63.6%	222
	愛別町字南町 492-12				
4	金富団地ファミリーユ 301・302（特公賃）	2001	2023	59.1%	222
	愛別町字南町 498-14				
5	金富団地ファミリーユ A 棟（特公賃）	1996	2018	81.8%	64
	愛別町字南町 453-20				
6	金富団地ファミリーユ B 棟（特公賃）	1996	2018	81.8%	64
	愛別町字南町 453-19				
7	金富団地ファミリーユ C 棟（特公賃）	1996	2018	81.8%	63
	愛別町字南町 453-16				
8	金富団地ファミリーユ D 棟（特公賃）	1996	2018	81.8%	63
	愛別町字南町 453-17				
9	金富団地ファミリーユ E 棟（特公賃）	1996	2018	81.8%	63
	愛別町字南町 453-18				
10	ひがしの団地（特公賃）	2007	2029	31.8%	645
	愛別町字東町 829-26				
11	本町団地 1号棟	1989	2027	65.8%	301
	愛別町字南町 8-39				

No.	施設名称	建築 年度	更新 年度	老朽 化率	面積 (㎡)
	所在地				
12	本町団地 2号棟	1992	2030	57.9%	299
	愛別町字南町 7-3				
13	本町団地 3号棟	1993	2031	55.3%	311
	愛別町字南町 7-3				
14	本町団地 4号棟	1994	2032	52.6%	323
	愛別町字南町 7-3				
15	本町団地 5号棟	1994	2032	52.6%	311
	愛別町字南町 7-3				
16	本町団地 6・7号棟	1995	2033	50.0%	660
	愛別町字南町 7-4				
17	本町団地 8号棟	1996	2034	47.4%	406
	愛別町字南町 7-4				
18	本町団地 9号棟	1996	2034	47.4%	406
	愛別町字南町 7-4				
19	金富団地 3号棟	1991	2029	60.5%	275
	愛別町字南町 492-4				
20	金富団地 4号棟	1991	2029	60.5%	264
	愛別町字南町 492-4				
21	金富団地 5号棟	1999	2046	31.9%	545
	愛別町字南町 492-1				
22	金富団地 6号棟	1999	2046	31.9%	545
	愛別町字南町 492-1				
23	金富団地 7号棟	1998	2045	34.0%	1,156
	愛別町字南町 492-1				
24	金富団地 8号棟	2000	2047	29.8%	757
	愛別町字南町 492-14				
25	金富団地 9号棟	2001	2048	27.7%	1,128
	愛別町字南町 492-6				
26	金富団地 10号棟	2002	2049	25.5%	728
	愛別町字南町 492-6				
27	金富団地 11号棟	2003	2050	23.4%	342
	愛別町字南町 492-23				
28	金富団地 1号棟	1987	2025	71.1%	292
	愛別町字南町 459-3				

No.	施設名称	建築 年度	更新 年度	老朽 化率	面積 (㎡)
	所在地				
29	金富団地 2号棟	1988	2026	68.4%	292
	愛別町字南町 459-6				
30	金富団地 12号棟	2013	2035	4.5%	305
	愛別町字南町 485-8				
31	金富団地 13号棟	2013	2035	4.5%	305
	愛別町字南町 485-8				
32	金富団地 14号棟 (特公賃)	2014	2036	0.0%	273
	愛別町字南町 458-2				
33	金富団地 15号棟	2014	2036	0.0%	235
	愛別町字南町 458-2				
34	金富団地 16号棟	2015	2037	0.0%	214
	愛別町字南町 458-2				
35	金富団地 38号棟	1974	2015	100.0%	197
	愛別町字南町 458-2				
36	金富団地 39号棟	1974	2015	100.0%	200
	愛別町字南町 458-2				
37	金富団地 40号棟	1976	2023	80.9%	212
	愛別町字南町 458-2				
38	金富団地 41号棟	1976	2023	80.9%	228
	愛別町字南町 458-2				
39	金富団地 42号棟	1976	2023	80.9%	228
	愛別町字南町 458-2				
40	北町団地 1号棟	1970	2015	100.0%	180
	愛別町字北町 248-21	(2009)	(2047)	(13.2%)	
41	北町団地 2号棟	1970	2015	100.0%	180
	愛別町字北町 248-21	(2009)	(2047)	(13.2%)	
42	北町団地 3号棟	1970	2015	100.0%	157
	愛別町字北町 248-7	(2008)	(2046)	(15.8%)	
43	北町団地 4号棟	1970	2015	100.0%	167
	愛別町字北町 248-7	(2008)	(2046)	(15.8%)	
44	北町団地 5号棟	1971	2015	100.0%	167
	愛別町字北町 248-7	(2008)	(2046)	(15.8%)	
45	北振団地 1号棟	1977	2024	78.7%	240
	愛別町字北町 419-2				

No.	施設名称	建築 年度	更新 年度	老朽 化率	面積 (㎡)
	所在地				
46	北振団地 2号棟	1977	2024	78.7%	240
	愛別町字北町 249-17				
47	北振団地 3号棟	1977	2024	78.7%	223
	愛別町字北町 249-17				
48	北振団地 4号棟	1978	2025	76.6%	240
	愛別町字北町 249-17				
49	北振団地 5号棟	1978	2025	76.6%	240
	愛別町字北町 249-17				
50	北振団地 6号棟	1978	2025	76.6%	223
	愛別町字北町 249-17				
51	北振団地 7号棟	1979	2026	74.5%	240
	愛別町字北町 287				
52	北振団地 8号棟	1979	2026	74.5%	240
	愛別町字北町 287				
53	北振団地 9号棟	1979	2026	74.5%	240
	愛別町字北町 287				
54	東町団地 1号棟	1972	2015	100.0%	192
	愛別町字東町 214-11	(2009)	(2047)	(13.2%)	
55	東町団地 2号棟	1973	2020	87.2%	193
	愛別町字東町 214-11	(2009)	(2056)	(10.6%)	
56	中央団地 1号棟	1995	2033	50.0%	386
	愛別町字中央 76				
57	愛山団地 1号棟	1996	2034	47.4%	350
	愛別町字愛山 561-3				
58	愛山団地 2号棟	1997	2035	44.7%	350
	愛別町字愛山 561-3				
59	愛山団地 3号棟	1998	2036	42.1%	350
	愛別町字愛山 561-3				
60	産業振興住宅	1992	2030	57.9%	251
	愛別町字愛山 492-6				
61	勤労者住宅ル・ノール 213	1998	2045	34.0%	764
	愛別町字北町 213				
62	勤労者住宅 セラヴィ	2013	2035	4.5%	110
	愛別町字南町 545-2				

No.	施設名称	建築 年度	更新 年度	老朽 化率	面積 (㎡)
	所在地				
63	東町振興住宅	2012	2034	9.1%	514
	愛別町字東町 221-9				
64	勤労者住宅(寮) 東町ハイム	1990	2037	51.1%	732
	愛別町字東町 215-1				
65	子育て住宅 アベニール	2010	2032	18.2%	421
	愛別町字南町 545-11				
66	子育て住宅 ボヌール	2014	2036	0.0%	428
	愛別町字北町 249-38				
67	振興住宅 3-4	1971	2015	100.0%	78
	愛別町字中央 72-2				
68	振興住宅 1-25・26	1973	2015	100.0%	117
	愛別町字南町 33-1				
69	振興住宅 1-39・40	1980	2027	72.3%	127
	愛別町字東町 221-3				
70	北町振興住宅 1	1995	2017	86.4%	74
	愛別町字北町 288-1				
71	北町振興住宅 2	1995	2017	86.4%	74
	愛別町字北町 288-1				
7. 教職員住宅					
1	職員住宅 4-101.102	1970	2015	100.0%	139
	愛別町字愛山 325-1				
2	職員住宅 5	1975	2022	83.0%	112
	愛別町字北町 233				
3	職員住宅 6	1976	2015	100.0%	82
	愛別町字愛山 322-4				
4	職員住宅 8	1977	2015	100.0%	65
	愛別町字東町 209-6				
5	職員住宅 9	1979	2026	74.5%	69
	愛別町字協和 305				
6	職員住宅 11	1980	2027	72.3%	69
	愛別町字愛山 353-2				
7	職員住宅 15	1988	2015	100.0%	74
	愛別町字中央 369				

No.	施設名称	建築 年度	更新 年度	老朽 化率	面積 (㎡)
	所在地				
8	職員住宅 17	1990	2015	100.0%	74
	愛別町字協和 1155-9				
9	職員住宅 23	1998	2020	72.7%	63
	愛別町字南町 453-14				
10	職員住宅 24	1998	2020	72.7%	69
	愛別町字中央 1078-10				
11	職員住宅 25	1999	2021	68.2%	79
	愛別町字協和 305				
12	職員住宅 28-102. 102	2001	2023	59.1%	203
	愛別町字南町 33-1				
13	職員住宅 29	2002	2024	54.5%	73
	愛別町字愛山 353-2				
14	教員住宅 12	1982	2029	68.1%	80
	愛別町字東町 221-1				
15	教員住宅 13	1984	2031	63.8%	79
	愛別町字北町 333-2				
16	教員住宅 14	1984	2031	63.8%	69
	愛別町字北町 333-2				
17	教員住宅 16-101. 201	1989	2027	65.8%	149
	愛別町字北町 243-9				
18	教員住宅 18	1991	2015	100.0%	74
	愛別町字東町 221-3				
19	教員住宅 22-101. 102	1994	2032	52.6%	160
	愛別町字東町 221-3				
20	教員住宅 26-101. 102. 201. 202	1999	2046	31.9%	329
	愛別町字南町 7-40				
21	教員住宅 27	2000	2022	63.6%	67
	愛別町字東町 221-1				
22	教員住宅 30	2002	2024	54.5%	67
	愛別町字南町 33-1				
23	教員住宅 31	2002	2024	54.5%	67
	愛別町字南町 33-1				

No.	施設名称	建築 年度	更新 年度	老朽 化率	面積 (㎡)
	所在地				
8. 学校教育施設					
1-1	愛別小学校 校舎	1979	2026	74.5%	3,576
	愛別町字北町 327				
1-2	愛別小学校 体育館	1996	2043	38.3%	1,037
	愛別町字北町 327				
1-3	愛別小学校 物置・ロッカー	1979	2015	100.0%	65
	愛別町字北町 424				
1-4	愛別小学校物置	2010	2034	16.7%	46
	愛別町字北町 327-1				
1-5	愛別小学校物置（スキー）	2010	2034	16.7%	39
	愛別町字北町 327-1				
2-1	愛別中学校 校舎	1967	2015	100.0%	2,978
	愛別町字東町 221-1				
2-2	愛別中学校 体育館	1967	2015	100.0%	759
	愛別町字東町 224-21				
2-3	愛別中学校 格技場	1980	2015	100.0%	453
	愛別町字東町 224-21				
3-1	愛別幼稚園 園舎	1993	2040	44.7%	708
	愛別町字北町 250-28				
3-2	愛別幼稚園 車庫	1993	2031	55.3%	86
	愛別町字北町 250-28				
9. 社会教育施設					
1	愛別町郷土芸能伝承館 (愛別地区コミュニティーセンター)	1998	2022	66.7%	194
	愛別町字東町 243-2				
2-1	宿泊研修施設「サンライズ」	1991	2029	60.5%	1,160
	愛別町字北町 300				
2-2	宿泊研修施設「渡り廊下」	1991	2018	85.2%	24
	愛別町字北町 300-3				
10. 地域会館					
1	伏古生活改善センター	1983	2015	100.0%	160
	愛別町字伏古 206-12				
2	愛別地区農業研修センター	1977	2015	100.0%	421
	愛別町字東町 1445-2				

No.	施設名称	建築 年度	更新 年度	老朽 化率	面積 (㎡)
	所在地				
3-1	旧協和小学校 校舎	1990	2037	51.1%	617
	愛別町字協和 305				
3-2	旧協和小学校 物置	1990	2015	100.0%	31
	愛別町字協和 305				
3-3	旧協和小学校 資料庫	1958	2015	100.0%	91
	愛別町字協和 305				
4	総合センター	1971	2021	86.0%	1,245
	愛別町字本町 345-1				
5	南町青少年会館	1980	2015	100.0%	161
	愛別町字南町 494-22				
6	中里母と子憩の家	1975	2015	100.0%	324
	愛別町字中央 340				
7	愛山コミュニティーセンター	1983	2015	100.0%	335
	愛別町字愛山 1061-7				
8	金富公民館	1985	2015	100.0%	405
	愛別町字金富 378-5				
9	愛山公民館	1979	2015	100.0%	442
	愛別町字愛山 492-6				
11. スポーツ施設					
1	スポーツ公園（トイレ・倉庫）	1987	2015	100.0%	55
	愛別町字北町 386-1				
2-1	あいべつ球場	1989	2036	53.2%	389
	愛別町字北町 306-1				
2-2	あいべつ球場 トイレ	1989	2015	100.0%	14
	愛別町字北町 306-1				
3-1	山村広場 管理棟	1990	2015	100.0%	62
	愛別町字北町 306-2				
3-2	山村広場 トイレ	1990	2015	100.0%	29
	愛別町字北町 306-2				
3-3	山村広場 車庫	2014	2039	0.0%	40
	愛別町字北町 306-1				
4	スキー場管理棟	1987	2015	100.0%	65
	愛別町字北町 326-1				

No.	施設名称	建築 年度	更新 年度	老朽 化率	面積 (㎡)
	所在地				
5-1	愛別海洋センター（プール付）	1988	2035	55.3%	1,720
	愛別町字北町 298-11				
5-2	トレーニングセンター	1993	2040	44.7%	292
	愛別町字北町 298-11				
5-3	海洋センター 車庫	1988	2015	100.0%	126
	愛別町字北町 301-1				
6	艇庫	1988	2015	100.0%	119
	愛別町字旭山 98				
1 2. 消防施設					
1	愛別消防署（総合センター内）	1971	2021	86.0%	389
	愛別町字本町 345-1				
2	乾燥塔	1971	2021	86.0%	6
	愛別町字本町 345-1				
3	第 2 分団車庫器材庫	1983	2017	91.2%	97
	愛別町字中央 72-2-17				
4	第 3 分団車庫器材庫	1982	2016	94.1%	103
	愛別町字愛山 492-5				
5	第 4 分団車庫器材庫	1984	2018	88.2%	98
	愛別町字東町 1445-2				
6	協和コミュニティー消防センター	1995	2036	46.3%	88
	愛別町字協和 1168-5, 6				
1 3. その他					
1-1	旧中里小学校 校舎	1962	2015	100.0%	891
	愛別町字中央 369				
1-2	旧中里小学校 体育館	1978	2015	100.0%	555
	愛別町字中央 369				
1-3	旧中里小学校 物置	1978	2015	100.0%	40
	愛別町字中央 369				
1-4	旧中里小学校 便所	1989	2015	100.0%	37
	愛別町字中央 369				
2	事務所	1968	2015	100.0%	271
	愛別町字北町 240-1				

No.	施設名称	建築 年度	更新 年度	老朽 化率	面積 (㎡)
	所在地				
3-1	旧愛山小学校 校舎	1978	2025	76.6%	1,741
	愛別町字愛山 325				
3-2	旧愛山小学校 体育館	1978	2015	100.0%	487
	愛別町字愛山 325				
4	協和 倉庫	1980	2015	100.0%	175
	愛別町字協和 494-2				
5	工芸館	1970	2015	100.0%	176
	愛別町字愛山 728-2				
6	大雪山倉庫	1924	2015	100.0%	542
	愛別町字本町 66-68				
7	文化財収蔵庫	1924	2015	100.0%	159
	愛別町字本町 66-68				
8	安足間バス待合室	1980	2015	100.0%	3
	愛別町字愛山 733-1				
9	愛山 2 4 線バス待合室	1980	2015	100.0%	3
	愛別町字愛山 1146-2				
10	愛山 2 2 線バス待合室	2009	2033	20.8%	4
	愛別町字愛山 1135-3				
11	愛山 2 1 線バス待合室	2009	2033	20.8%	4
	愛別町字愛山 1061-2				
12	中愛別駅前バス待合室	1980	2015	100.0%	3
	愛別町字中央 77-1				
13	中央 1 5 線バス待合室	1980	2015	100.0%	3
	愛別町字中央 38-1				
14	愛別橋前バス待合室	1980	2015	100.0%	5
	愛別町字南町 7				
15	愛別橋前バス待合室	1980	2015	100.0%	3
	愛別町字南町 7				
16	協和郵便局前バス待合室	1980	2015	100.0%	5
	愛別町字協和 382-10				
17	協和分岐点前バス待合室	1980	2015	100.0%	5
	愛別町字協和 497-10				
18	愛山駅待合室	1980	2015	100.0%	9
	愛別町字愛山 3 区				

No.	施設名称	建築 年度	更新 年度	老朽 化率	面積 (㎡)
	所在地				
19	旧農産加工場	1972	2015	100.0%	1,402
	愛別町字南町 510-7				
20	旧児童館	1951	2015	100.0%	210
	愛別町字愛山 492-6				
21	愛山老人クラブ集会所	1980	2015	100.0%	67
	愛別町字愛山 911				

※建築年度の（ ）書きは、全面的改良住宅建築年度です。また、更新年度の（ ）書きは、改良後の更新年度です。

※建物の更新年度及び老朽化率は、財務省令「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」で定められた法定耐用年数を用いて算出しています。

※老朽化率は、2014 年度(直近の公会計決算年度)を基準にしています。また、耐用年数を超過している建築物の更新年度は、計画を策定した 2015 年に統一しています。

■参考資料2 建築物以外のスポーツ施設・公園等一覧表

(平成28年1月現在)

No.	施設分類	施設名称 所在地	整備 年度	面積 (㎡)
1	スポーツ	スポーツ公園テニスコート	1985	2,339
		愛別町字北町 386 番地 1(あすなろ広場)		
2	スポーツ	スポーツ公園ゲートボールコート	1985	1,480
		愛別町字北町 386 番地 1(あすなろ広場)		
3	スポーツ	あいべつファミリースキー場	1987	56,340
		愛別町字北町 326 番地		
4	スポーツ	山村広場	1990	31,196
		愛別町字北町 306 番地		
5	スポーツ	石狩川親水緑地公園	1992	58,271
		愛別町字南町石狩川河川敷		
6	産業・観光	あいべつオートキャンプ場	1997	24,127
		愛別町字愛山 1005 番地 5		
7	産業・観光	きのこの里パークゴルフ場	2003	78,100
		愛別町字中央 2017 番地		
8	公園	愛別町ふれあい通り	1986	514
		愛別町字本町 19 番地		
9	公園	農村公園	1997	66,920
		愛別町字北町 310 番地 1		
10	公園	愛別公園	1998	4,936
		愛別町字北町河川敷		
11-1	公園	きのこの里あいべつオートキャンプ場	1997	24,127
		愛別町字愛山 1005 番地 5		
11-2	公園	あいべつリバーフロントパーク	2003	44,908
		愛別町字中央 2017 番地		

愛別町公共施設等総合管理計画

平成 2 8 年 3 月

愛別町総務企画課政策企画室

〒078-1492

北海道上川郡愛別町字本町 179 番地

電話:01658-6-5111

F A X:01658-6-5110